

- 一 肉牛乳牛耕牛(乘馬、農馬)ノ内何々ヲ蕃殖ノ見込
- 一 牝牛馬何頭ヲ所持シ或ハ新ニ起業何頭購入ノ見込
- 一 地味ノ良否播種物ノ生育及飲用水ノ景況
- 一 管理方法ノ概略
- 一 冬季牧牛馬飼料ニ供スル草穀ノ種類

(乙號) (證券印紙貼用スベシ)

拜借證

牧牛馬(改良)蕃殖ノ爲メ何種何頭(牝牡ヲ區別ス)御貸與相成正ニ拜借仕候就テハ種馬貸與規則遵守可仕ハ勿論平素鄭重ニ取扱可申萬一不注意ヨリ拜借馬ヲ失跡又ハ斃死セシムルハ相當ノ代價辨納可仕若シ本人ヨリ上納致シ難キ節ハ保證人ニ於テ引受辨納可仕依テ保證人連署拜借證如件

年月日

拜借人

族籍住所

何之誰印

保證人

同

何之誰印

同 何之誰印

北海道廳長官氏名殿

(丙號)

拜借(牛馬)自明治何年一月至同年十二月 交尾御届

牝馬牛之部									
種類	名號	年齢	毛色	産地	年月日	借地畜名	交尾回数	尾數	事由
何々種	何々	何歳	何毛	何々	何年何月何日	何々	何頭	何回	何回
									拜借期限等ノ如キモノヲ明記スベシ

農業

右之通候也

百八十四

年月日

族籍住所

何之誰印

(丁號)

北海道廳農商課御中

產出牝御屈

種類	名號	牝區別	毛色	產地	生年月日	血統	事
何々種	何々	牝或牝	何毛	何々	何年何月何日	父種類 母種類	體格良否ノ大略ヲ記スベシ

(戊號)

馬牛死亡跡御屈

種類	名號	牝區別	年齡	毛色	產地	年拜月日	畜養地名	事	由
何々種	何々	牝或牝	何才	何毛	何々	何年何月何日	何々	何年何月何日何病ヲ發シ ニテ失跡	

右之通候也

族籍住所

何之誰印

年月日

北海道廳農商課御中

(己號)

(證券印紙ヲ貼用スベシ)

契約書

一何種牝馬

名號

毛色

生年月

右ハ明治十九年御應甲第九號牛馬貸與規則第四條ニ依リ御下付相成候ニ付テハ(馬牛)種改  
 頁ノ御趣意ヲ奉シ(牛齡十二歲)ニ至ル迄ハ官ノ御許可ヲ得ルニアラザレハ決シテ他ヘ賣渡  
 讓與等仕間敷萬一此契約ニ違背候節ハ該畜又ハ相當ノ代價御取上相成候共聊苦情申上間  
 敷若本人不在又ハ事故有之候節ハ保證人ニ於テ本人ノ義務一切引受可申候爲後日保證人  
 連署契約書如斯候也

族籍住所

本人何之誰印

年月日

農業

百八十五

北海道廳內務部長宛

保證人 同 何之 誰印  
 同 何之 誰印

種豚貸與手續(明治二十年十月北海道廳告示第百四十二號)

- 第一條 種豚貸與ヲ乞フ者ハ毎年一月ヨリ四月迄ノ間ニ別紙甲號雛形ノ願書ヲ出シ許可ノ上ハ乙號雛形ノ證書ヲ出スベシ
- 第二條 種豚ハ一戸ニ付牝一頭牝二頭ヲ貸與ス但願人ノ情況又ハ官ノ都合ニ依リ特ニ頭數ヲ増減スルコトアルベシ
- 第三條 貸與セル種豚牝一頭牝二頭ニ付生産兒豚牝一頭牝二頭ノ割ヲ以テ滿ニケ年間ニ上納ス可シ上納ノ後其種豚ハ無代價ヲ以テ借受人ニ附與スベシ但生産後十二ケ月未滿ノ者ヲ貸與スルハ其月數ニ滿ル迄ハ本條年限ニ算入セズ
- 第四條 上納ニ充ツベキ兒豚ハ生産後四ケ月以上ヲ經過シ體格健全ノ者ニ限ル

- 第五條 受取及上納ニ關スル費用ハ借主ノ自辨トス但時宜ニ依リ甲ヨリ上納スベキモノヲ移シテ直ニ乙ニ貸與スルコトアルベシ
- 第六條 貸與種豚死亡若クハ失踪セシキハ其事由ヲ詳記シ保證人連署內務部ヘ届出ベシ
- 第七條 種豚貸與ヲ受ケタルモノハ其初年蕃殖ノ景況ハ丙號雛形ニ其後二年間ハ丁號雛形ニ依リ毎歲十二月ニ取調メ內務部ヘ届出ベシ
- 第八條 種豚貸與中ハ主務官吏ヲ派遣シ飼養ノ景況ヲ視察セシムルコトアルベシ
- 第九條 貸與種豚ノ飼育ヲ粗畧ニシ若クハ此手續ニ違背スルキハ直ニ返納セシメ不注意ヨリ斃死若クハ失踪セシキハ相當ノ代價ヲ辨償セシムベシ

(甲號)

種豚拜借願

豚蕃殖ノ爲メ牝何頭牝何頭拜借仕度保證人連署此段奉願候也

何國何郡何町何番地士族平民 誰

願人 何 誰

同上 何 誰

保證人 何 誰

年月日

農業

北海道廳長官姓名殿

戶長與印

(乙號) (證券印紙貼用)

種豚拜借證

豚蕃殖ノ爲メ牡豚何頭牝豚何頭正ニ拜借仕候就テハ種豚貸與手續確守可仕ハ勿論平素鄭重ニ取扱萬一不注意ヨリ失踪又ハ斃死セシムルハ相當ノ代價辨償可仕若シ本人ヨリ上納難致節ハ證人ニ於テ引受辨償可仕爲後證連署如件

年月日

何國何郡何町番地主族平民

拜借人 何 誰

同上

保證人 何 誰

北海道廳長官姓名殿

(丙號)

豚蕃殖御届

年 齡	事 故	牝 牝		牝 牝		計	屠殺	賣却	斃死	失踪	計	見差 數引
		頭 數	借 後	頭 數	借 後							
六ヶ月未満												
六ヶ月以上 十二ヶ月未満												
十二ヶ月以上												
計												

備考 (假令ハ牝牝ノ内單ニ一頭ヲ借受ケ之ヘ所有ノ牝或ハ牝ヲ配尾セシメタルハ本表中ヘ所有ノ分ヲ併記シ置キ其事由ヲ此欄内ニ記載シテ官私ノ區別ヲ説明スベシ)

右御届仕候也

國郡區町村番地主族平民

何 誰 印

年月日

北海道廳內務部御中

農業

(丁號)

豚蕃殖御届

年 齡	事 故		計		屠殺	賣却	斃死	失踪	計	現 差 引
	牝	牡	牝	牡						
六ヶ月未満										
六ヶ月以上 十二ヶ月未満										
十二ヶ月以上										
計										

右御届仕候也

國郡町村番地士族平民

年月日

何 誰 印

北海道廳内務部御中

(十二) 漁 業

北海道水産物取締規則(明治二十一年三月十八號)

- 第一條 漁業若クハ水産物ヲ製造セントスル者ハ總テ此規則ヲ遵守シ願書ヲ作リ戶長ノ與印ヲ請ケ所轄郡區長ニ願出ベシ若シ漁業ノ區域數郡區役所所轄ニ跨ルモノハ郡區長ヲ經テ北海道廳長官ニ願出ツベシ
- 但遠洋漁業ヲ爲サントスルモノハ其根據地郡區長ヲ經由シ北海道廳長官ヘ願出ベシ
- 第二條 苔藻介類ヲ移殖スル爲メ水底ヲ借區セントスル者ハ第一條ノ手續ニ準シ北海道廳長官ニ願出ツベシ
- 第三條 此規則ニ於テ漁業トハ捕魚採藻(蠟虎並臘轔ヲ除キ水産動物ノ採捕ヲ併稱ス)ノ業ヲ爲ス者水産物製造トハ其原品ニ勞力ヲ加フルモノヲ云フ
- 第四條 漁業組合設置ノ場所ニ於テ其規約アル漁業若クハ水産物ノ製造ヲ爲サントスル者ハ該組合ニ加入シ願書ヘハ組合頭取ノ連署ヲ請クベシ組合頭取ハ故障ノ有無ヲ取調ヘ故障アル者ハ其理由ヲ副申スヘシ
- 第五條 從來慣用セサル漁具漁法若クハ採藻法ヲ用ヒントスルモノハ第一條ノ手續ニ準シ願出ツヘシ若シ漁業組合設置ナキ場所又ハ其組合規約外ニ係ル漁業者ハ該地方同業者過

半數ノ連署ヲ受クベシ若シ同業者謂レナク故障ヲ唱フルモ其理由ヲ副申シテ願書ヲ進達スルコトヲ得

第六條 水面ノ位置ヲ定ムル漁業ハ位置、方位、沖出間數隣接漁場ノ距離等ヲ願書ニ記載シ隣接漁業者ノ連印ヲ請クベシ若シ隣接漁業者謂レナク故障ヲ唱フルモ其理由ヲ副申シテ願書ヲ進達スルコトヲ得

但隣接漁場ノ距離一里以上ノ者ハ連署ヲ請クルニ及ハス

第七條 第四條、第五條、第六條組合頭取其他連署ヲ要スル場合ニ於テ故障ヲ唱フルモ其理由ヲ調査シ連署ノ有無ニ拘ラス許可スルコトアルヘシ

第八條 一地方毎ニ水産ノ蕃殖保護ヲ圖ル爲メ特ニ規約ヲ定メントスル者ハ北海道廳長官ノ認可ヲ請クヘシ

第九條 多人數共同シテ漁業若クハ水産物ヲ製造セントスル者ハ總代人ヲ定メ願出ツヘシ第十條 漁業者水産物製造者其地ニ住居シ難キ時ハ常ニ本業ニ係ル事件ヲ處辨スル相當ノ代人ヲ定メ連署ノ上所轄郡役所ヘ届出ツヘシ

第十一條 漁業者水産物製造者廢業、休業、改名、轉居、代替、等ノ節ハ直ニ其旨所轄郡役所ヘ届出ツヘシ

第十二條 左ノ漁業ハ一ケ年(其年冬ヨリ翌年春迄漁業ノ續ク)間許可ス

一 差網(罾差網)手繰網配繩漁海鼠曳採藻(昆布)各介類採捕其他簡易ノ方法ニヨリ魚介ヲ採捕スルモノ

第十三條 第十二條漁業ノ外ハ總テ無期限トス但公益上妨ケアリト認ムルモノハ相當期限ヲ定メ若クハ位置變換ヲ命スルコトアルベシ

第十四條 第十三條無期限ノ漁業許可ヲ得タルモノ引續三ケ年間休業セシ時ハ許可ノ指令ハ効ナキモノトス

第十五條 河川ニ於テ鮭鱒ノ漁業ヲ爲ス者ハ本船ノ曳網ニ限ル其曳方ハ川幅ノ七分ヲ超過スヘカラズ且ツ日没ヨリ日出迄ハ漁業ヲ禁止ス

但シ支川ト雖モ自費ヲ以テ蕃殖方法ヲ設ケ實効アル者ハ特ニ漁業ヲ許可スルコトアルヘシ

第十六條 河川湖沼ニ於テ差網、テス網、若クハ不動漁具ヲ用ヒ又ハ水面ヲ横斷スルノ裝置ヲ爲シ漁類浜上ノ妨害タル漁業ヲ許サス

第十七條 學術研究又ハ遊漁若クハ自家所用ノ爲メ捕漁採藻スル者ハ出願ニ及ハスト雖モ前條ノ漁具及ヒ鉗、鈎、曳網等ヲ用ヒ鮭鱒ヲ捕獲シ及一般ノ蕃殖上又ハ漁業者ノ妨害タル

所爲ヲ許サス

第十八條 魚兒介苗其他未成長ノ苔藻ハ濫ニ採捕スルヲ許サス

第十九條 本則第一條第四條第五條第十一條第十五條第十六條第十七條第十八條ニ違背シタル者ハ違警罪ノ刑ニ處セラレベシ

水産物營業人組合規則(明治二十年五月北海道廳令第四十七號)

第一條 水産物營業者ニシテ北海道水産稅則第五條ニ該當スル者ハ其營業ノ種類品目及漁具ノ名稱員數ヲ記載シ同則第八條ニ據リ水産物營業人組合ニ加入テ其組合納稅委員ニ届出承諾ヲ受クベシ納稅委員ハ之ヲ郡區長ヘ届出可シ

第二條 北海道水産稅則第五條ニ該當スル水産物營業ヲ許可シタルトキハ郡區長ニ於テ其住所姓名及ビ營業ノ種類品目漁具ノ名稱員數ヲ記載シ(營業期限ノ定メアルモノ)納稅委員ニ報告スベシ

第三條 水産物營業人廢業休業若クハ改名轉居代替等ノ節ハ直ニ其旨納稅委員ニ届出納稅委員ハ之ヲ郡區長ニ届出可シ  
郡區長ハ北海道水産稅則第五條ノ營業人ヨリ北海道水産物取締規則第十一條ノ届出ヲ受

ケタルトキハ直ニ納稅委員ニ報告スベシ

第四條 納稅委員ハ組合水産物營業人ノ名簿ヲ調整シ開業廢業又ハ改名代替等ヲ登記スベシ

第五條 水産物營業人ニ於テ代理人ヲ置クトキハ其組合納稅委員ヘ届出ベシ

第六條 納稅委員事務扱所ハ何地水産物營業人組合納稅事務所ト稱スベシ

租納稅委員ニ於テ其組合區域廣濶ニシテ納稅事務所ノ支所ヲ設クルヲ必要トスルトキハ組合會ノ協議ヲ經郡區長ノ認可ヲ受ク可シ

第七條 納稅委員ハ雇員ヲ置キ書記計算ニ從事セシムルコトヲ得

第八條 水産物營業人組合會ハ毎年一月乃至五月ノ間ヲ以テ之ヲ開ク其開會ノ期日ハ納稅委員之ヲ定メ戶長ヲ經由シテ郡區長ニ届出ベシ但土地ノ狀況ニ依リ會期ヲ操上ルコトヲ得此場合ニ於テハ其事由ヲ具シ戶長ヲ經由シテ郡區長ノ認可ヲ受クベシ

第九條 納稅委員臨時水産物營業人組合會ヲ開カントスルトキハ其事由ヲ具シ戶長ヲ經由シテ郡區長ノ認可ヲ受クベシ

第十條 納稅委員ハ北海道水産稅則第十條ニ依リ各自ノ負擔スベキ税金ヲ評決セシメタルトキハ二日以内ニ評決書ヲ製シ戶長ヲ經由シテ郡區長ニ差出スベシ

郡區長ハ前項ノ評決ニ認可ヲ與ヘタルトキハ七日以内ニ左ノ要領ヲ具シ北海道廳長官ニ報告スベシ但評決書ノ寫ヲ以テ之ニ充ツルコトヲ得

一 税金賦課ノ方法 何業建網一統ニ付金何程何業差  
網一放二枚ニ付金何程等ノ類

二 費用徴收ノ方法 同上

三 營業人員 何業建網何名何業差網  
何放二枚何名ノ類

四 税金負擔ノ程度 五圓未満何人五圓以上拾圓未満何人拾圓以上貳拾圓未満何人貳拾圓以上三拾圓未満何人三拾圓以上五拾圓未満何人五拾圓以上百圓未満何人百圓以上貳百圓未満何人貳百圓以上三百圓未満何人三百圓以上五百圓未満何人五百圓以上何人

五 營業人若クハ賦課物件ニ異動ヲ生シ組合税額ニ過不足ヲ來セシトキノ處分方法

第十一條 水產物營業人組合會ノ會員ハ五名以上十五名以下トス其人員ハ組合區域ノ廣狹營業人ノ多少ニ依リ其組合ニ於テ適宜之ヲ定ムベシ

第十二條 水產物營業人組合會ノ會員ハ水產物營業人又ハ其代理人ニシテ滿二十五歲以上ノ男子ニ限ル但左ノ各項ニ觸ル者ハ會員タルコトヲ得ス

一 瘋癲白痴ノ者

二 舊法ニ依リ一年以上懲役及國事犯禁獄ノ刑ニ處セラレ滿期ノ後五ケ年ヲ經ザル者新法ニ依リ公權ヲ剝奪及停止セラレタル者又ハ一年以上輕重禁錮ノ刑ニ處セラレ主刑滿期後五年ヲ經ザル者

三 身代限ノ處分ヲ受ケ負債ノ義務ヲ畢ヘザル者

第十三條 水產物營業人組合會ノ會員ハ其組合水產物營業人ノ投票ヲ以テ之ヲ選舉スベシ但選舉方法ハ郡區長之ヲ定ム

水產物營業人前項ノ會員ヲ選舉セザルトキハ郡區長ハ北海道廳長官ニ具狀シ指揮ヲ請フベシ

第十四條 前條第一項ヲ以テ選舉セラレタル會員ハ北海道水產稅則第九條第二項ニ依リ納

稅委員ニ充ツベキ者若干名ヲ互選シ郡區長ヲ經由シテ北海道廳長官ニ届出ベシ

第十五條 水產物營業人組合會會員ノ任期ハ三年トス但前任ノ者ヲ再選スルコトヲ得

第十六條 水產物營業人組合會ノ會頭ハ納稅委員ヲ以テ之ニ充ツ

第十七條 水產物營業人組合會ノ議案ハ其組合納稅委員之ヲ發ス

第十八條 水產物營業人組合會ノ開會日限ハ五日以内トス

第十九條 水產物營業人組合會ハ其會員ノ出席過半數ニ滿タサルトキハ開會スルコトヲ得

第二十條 納稅委員ハ水產物營業人組合會評決ノ認可ヲ得タルトキハ之ヲ其組合中ニ報告

スヘシ



第二十一條 納稅委員ハ其組合前年度中ニ係ル税金ノ受拂書ヲ調製シ之ヲ其組合會ニ報告シ且戸長ヲ經由シテ郡區長ニ届出ヘシ

第二十二條 水産物營業人組合會員招集ニ應セスシテ評議ヲ開クヲ得ズ及評決スヘキ議案ヲ評決セズ又ハ開會日限内ニ於テ議案ヲ評決シ終ラサルトキハ納稅委員ハ戸長ヲ經由シテ郡區長ヘ届出ヘシ

第二十三條 前條ノ場合ニ於テ郡區長ハ北海道廳長官ニ具狀シテ指揮ヲ請フヘシ但郡區長ニ於テ水産物營業人組合會ノ評決ヲ不當ナリトスルトキ亦同シ

第二十四條 納稅委員ニ關スル費用ハ左ノ目ニ照シ納稅委員ニ於テ其豫算及徵收方法ヲ立テ水産物營業人組合會ノ協議ニ付シ郡區長ノ認可ヲ得テ施行スヘシ

- 一 納稅委員職務勞金
- 一 納稅委員旅費
- 一 雇員ノ給料及旅費
- 一 税金徵收及送納ニ關スル諸費
- 一 納稅事務所諸費
- 一 水産物營業人組合會ニ關スル諸費

(十四) 工業

蒸氣器械場取締規則(明治二十二年六月  
北海道廳令第四十四號)

第一條 本則ハ製造場精米場等蒸氣器械ヲ裝置スル場所ニ適用ス

第二條 蒸氣器械場ヲ設置セントスル者ハ地所及器械場ノ構造繪圖面並ニ器械ノ種類箇數寸法馬力燃料消費高等ヲ記載シタル書面ヲ以テ所轄警察署ニ願出許可ヲ受クヘシ

第三條 左ノ各項ニ觸ル、モノハ許可セス

- 一 器械場ト隣接地トノ距離十間以内ノモノ
- 二 器械場ト道路又ハ鐵道線路トノ距離五間以内ノモノ
- 三 構造不完全ニシテ危險ノ虞アルモノ

第四條 火焚場煙筒及其近傍造作ハ不燃質物ヲ用ユヘシ

第五條 新築落成及改築又ハ修繕ヲ爲シタル時ハ所轄警察署ニ届出檢査ヲ受クヘシ

第六條 既ニ許可シタルモノト雖モ臨時檢査ノ上危險ノ虞アリト認ムル時ハ改築修補ニ至ルマテ運轉ヲ中止スルコトアルヘシ

第七條 午後十時ヨリ翌午前四時ニ至ルマテ器械ヲ運轉スヘカラス

但シ特ニ許可ヲ得タルモノハ此限りニアラズ

第八條 本則第二條第五條第七條ニ違背シタル者ハ違警罪ヲ以テ罰セラルヘシ

附則

工業

第九條 從來許可シタルモノニシテ本則第三條一項二項ニ抵觸スル場所ハ改築ノ期ニ至リ該制限ニ從ハシム

水面埋立並使用出願手續(明治廿三年十二月北  
海道廳令第七十四號)

第一條 官ニ屬スル公私有水面ヲ埋立テントスル者ハ埋立方法書ニ繪圖面並入費概算調ヲ添ヘ第一號式公有水面第二號式私有水面ニ依リ出願スベシ

但埋立地一町歩以上ニ涉ルモノハ埋立方法書ノ外精密ナル設計書ヲ添付スベシ

第二條 埋立成功ノトキハ第三號式ニ依リ出願認可ヲ請フベシ

第三條 舊慣ニ依リテ捕魚採藻ノ業ヲ營ムノ外公有水面ヲ其儘使用セントスル者ハ第四號式ニ依リ出願スベシ

第四條 官ニ屬スル私有水面ヲ使用セントスル者ハ一般ノ貸地規則ニ依リ出願スベシ

第五條 第一條第三條第四條ノ場合ハ接續地主及使用者並ニ保証人連署ノ上願書差出スベシ

但接續地主及使用者連署セザルトキハ其旨副申スベシ

附 則

第六條 北海道海湖沼地埋立規則ニ依リ出願許可ヲ得タルモノハ尙従前ノ手續ニ依ル

第一號式

公有水面埋立願

何國何郡區何町村何番地

一海面(又ハ河湖)間口何間別紙繪圖面之通

此坪數何程

右ハ御命令ヲ遵守シ宅地(又ハ何々)ノ目的ヲ以テ埋立仕度尤接續地主へ及示談候處支障無之候間御許可被成下度別紙方法書(設計書)並ニ繪圖面相添保証人連署此段奉願候也

何府縣華士族平民

何國何郡區何町村何番地

當時何國何郡區何町村何番地寄留

願 人 何 某 印

(曆書前ニ做テ)

接續地主 何 某 印

(同上)

保証人 何 某 印

北海道廳長官宛

(郡區長戸長ノ與書ヲ要ス)

工業

第二號式

私有水面埋立地拂下(貸下)願

國郡區町村番地

一河(又ハ湖沼池)埋立地間口何間別紙繪圖面ノ通

此坪數何程

右ハ今般御拂下(貸下)ノ上宅地(又ハ何々)ノ目的ヲ以テ埋立仕度尤接續地主等ノ故障ハ聊カ無之候間相當ノ代價(料金)ヲ以テ御拂下(貸下)被下度別紙方法書(設計書)並ニ繪圖而相添保証人連署此段奉願候也

(前書前ニ倣フ)

年月日

願人 何 某印

(同上)

接續地主 何 某印

(同上)

保証人 何 某印

北海道廳長官宛

(郡區長戸長ノ與書ヲ要ス)

第三號式

水面埋立成功御認可願

國郡區町村番地

一水面埋立地間口何間別紙繪圖面ノ通

此坪數何程

右埋立ノ義明治何年何月何日御許可ヲ得候處今般悉皆成功仕候間御檢査ノ上御認可被成下度此段奉願候也

(前書前ニ倣フ)

年月日

願人 何 某印

北海道廳長官宛

(郡區長戸長ノ與書ヲ要ス)

第四號式

公有水面使用願

國郡區町村番地

一海面(又ハ河湖面)間口何間別紙繪圖面之通

此坪數何程

工業

右ハ御命令ヲ遵守シ何々ノ目的ヲ以テ何年何月ヨリ向テ何ケ年間使用仕度接續地主（及隣接使用者）及示談候處支障無之候ニ付相當ノ使用料上納可仕候間御許可被成下度別紙繪圖面相添保証人連署此段奉願候也

年月日

（肩書前ニ做フ）

願人 何 某印

（同上）

接續使用者 何 某印

（同上）

接續使用者 何 某印

（同上）

保証人 何 某印

北海道廳長官宛

（郡區長戸長ノ與書ヲ要ス）

（十五） 商業

同業組合例則（明治二十一年七月北  
海道廳令第四十三號）

第一條 當廳管内ニ於テ重要物産ノ營業ヲナスモノ及ビ之ノガ營業上ノ利害ヲ共ニスルノ組合ヲ結ハントスルキハ適宜ニ地區ヲ定メ其地區内同業者四分ノ三以上ノ同意ヲ以テ申合規約ヲ作り當廳ノ認可ヲ請フベシ

第二條 組合組織ハ成ルベク同業者ヨリ成立セシムベシト雖モ地方ノ情況及便宜ニ因リ特ニ關係ヲ有スル營業者ニ限り合併組合ヲ設クルコトヲ得

第三條 同業申合規約ハ左ノ數項ヲ掲グベシ

第一項 業名及組合ノ名稱 第二項 組合ノ地區及事務所ノ位置

第三項 目的及方法 第四項 役員選舉法及權限

第五項 會議ニ關スル規程 第六項 營業取引ニ關スル規程

第七項 加入退去ニ關スル規程 第八項 費用徵收及賦課法

第九項 違約者處分

右ノ外組合ニ於テ必要ト認ムル事項

第四條 組合ハ各自營業上ノ弊害ヲ矯メ其利益ヲ圖ルヲ以テ目的トスベシ

第五條 組合ノ設ケアル地區内ニ於テ組合員ト同業ヲ營ムモノハ必ズ其組合ニ加盟スベシ

但加盟シ難キ事實アルカ或ハ加盟ヲ拒ムベキ事情アルキハ其旨當廳へ申出テ認可ヲ請

商業

フベシ

第六條 同業組合員ハ組合ノ資格ヲ以テ營利ノ事業ヲ爲スコトヲ得ズ

第七條 同業組合ハ其事跡及收支決算表ヲ毎年郡區役所ヲ經テ當廳ヘ報告スベシ

第八條 同業組合ハ業跡又ハ事務上一切ニ付組合ノ資格ヲ以テ管轄廳ノ諮問ニ對シ答辨スルノ責メアルモノトス

第九條 規約ノ改正ハ其改正案ヲ作り又組合ノ分立合併ハ更ラニ規約ヲ作り當廳ノ認可ヲ請フベシ

第十條 同業組合ニ於テ各地區内聯合會ヲ設ケ其規約ヲ作りタルキハ當廳ヘ申出テ認可ヲ請フベシ

附則

函館札幌根室三縣布達同業組合準則及商業組合例則ニ依リ已ニ組合ヲ結ビ營業セルモノハ更ニ其規約ノ認可ヲ請フニ及バス今後規約ノ改正等ヲ爲サントスルキハ本則ニ依リ當廳ノ認可ヲ請フベシ

料理屋及飲食店取締規則(明治二十二年一月 北海道廳令第六號)

第一條 料理屋又ハ飲食店ノ營業ヲナサントスル者ハ所轄警察署又ハ分署ニ願出許可ヲ受クベシ

第二條 料理屋又ハ飲食店ハ左ノ標札ヲ掲グベシ

料理屋	住所
飲食店	氏名

第三條 料理屋又ハ飲食店ニハ客ヲ宿泊セシムベカラズ若シ止ヲ得ズ宿泊セシムル時ハ即時警察署又ハ分署ニ届出ベシ

第四條 婦女ヲ雇入レ若クハ同居セシメタル時ハ其族籍氏名年齢ヲ三日以内ニ所轄警察署又ハ分署ニ届出ベシ

第五條 客ヲ誘引スルノ目的ヲ以テ雇女又ハ同居ノ婦女ヲ故ラニ街道ニ彷徨セシムヘカラズ

第六條 飲食物ノ抵償トシテ衣類其他ノ物品ヲ押取シ又ハ領受スベカラズ

第七條 客ノ需メナキ飲食物ヲ供スベカラズ

第八條 午後十二時後ハ歌舞音曲ヲナサシムベカラズ

第九條 轉居又ハ廢業シタル者ハ五日以内ニ所轄警察署又ハ分署ニ届出ベシ

第十條 本則第一條第三條第四條第五條第六條第七條第八條ニ違背シ若クハ第九條轉居ノ届出ヲナササルモノハ違警罪ニ依リ罰セラルベシ

宿屋取締規則(明治二十二年十一月號) 北海道廳令第六十七號

第一章 通 則

第一條 宿屋ヲ分テ旅人宿下宿屋木賃宿ノ三種トス

第二條 宿屋營業ヲ爲サントスル者ハ其種類ヲ記シ營業用ニ供スル建物及間取等ヲ記シタル圖面ヲ以テ所轄警察署又ハ分署ニ願出允許ヲ請フベシ其間取等ヲ變更シタル時ハ圖面ヲ以テ届出認可ヲ受クベシ

第三條 左ノ各項ニ觸ル、者ハ允許ヲ與ヘズ

- 一 未丁年者ニシテ後见人ナキ者
- 二 白痴瘋癲者
- 三 強盜及詐偽取財ノ罪ヲ犯シタル者

四 監視中ノ者

第四條 改氏名又ハ廢業シタル者ハ其旨所轄警察署又ハ分署ニ届出ベシ

第五條 宿屋營業人ハ看板ヲ店頭ニ掲クベシ

第六條 營業人ハ所轄警察署又ハ分署部内ヲ以テ區域トシ其種類ニ從ヒ各組合ヲ設クベシ 但部内ノ狀況ニ依リ警察署又ハ分署ノ認可ヲ受ケ便宜之ヲ數組トナスコトヲ得

第七條 組合ヲ設ケス又ハ組合ニ入ラズシテ營業ヲ爲スベカラズ

第八條 組合ニハ各營業人中ヨリ取締一人ヲ公撰シ所轄警察署又ハ分署ノ認可ヲ受クベシ

第九條 取締ニ於テ取扱フベキ事項左ノ如シ

- 一 宿屋營業ニ關スル規則命令ヲ營業人ニ通知スル事
  - 二 組合營業人ノ願届ニ加印スル事
  - 三 取締ノ撰舉ニ關スル事務ヲ取扱フ事
- 右ノ外規約ヲ以テ定メタル事項

第十條 組合ニ於テハ規約ヲ定メ所轄警察署又ハ分署ノ認可ヲ受クベシ

第十一條 強テ客ヲ誘引スベカラス

第十二條 宿泊人ノ所有品ハ特ニ其寄托ヲ受ケザルモ紛失セザル様注意スベシ

第十三條 宿泊人ノ承諾ナクシテ來訪者其他ノ者ヲ濫リニ其室内ニ入ラシムベカラズ

第十四條 宿泊人疾病ニ罹ル時ハ醫藥食物等其求メニ應ジ特ニ懇切ニ取扱フベシ

第十五條 宿泊人變死ニ係リ又ハ其所有品紛失シタル時ハ即時ニ警察署分署巡查交番所若クハ巡行ノ巡查ニ届出ベシ

第十六條 宿泊料ノ抵償トシテ私擅ニ宿泊人ノ所有品ヲ押取シ又ハ受領スベカラズ

第十七條 宿泊人ニ遊興ヲ勸メ又ハ宿泊料外ノ金錢ヲ得ル目的ヲ以テ客ノ求メナキ飲食物ヲ供スベカラズ

第十八條 宿泊料其他宿泊人ニ關スル緊要ノ事項ハ帳場及客ノ見易キ場所ニ揭示スベシ

第十九條 午後十二時後歌舞音曲ヲ爲サシムベカラズ

第二章 旅人宿

第二十條 旅人宿ハ客室ニ充分ノ光線ヲ取リ且空氣ノ流通ヲ便ナラシムベシ

第二十一條 客室毎ニ堅固ナル錠前附ノ押入又ハ戸柵等ヲ設クベシ

第二十二條 二階以上ノ客室二十坪以上アルモノハ階子二箇以上ヲ設クベシ但階子ノ幅ハ四尺以上タルベシ

第二十三條 便所ハ臭氣ノ客室ニ及ハザル所ニ設ケ尿尿ヲ受容スベキ部分ハ漏脱滲透セザル様構造スベシ

第二十四條 便所ハ日々清潔ニ掃除ヲ爲スベシ

第二十五條 客室ノ番號ハ其出入口ニ揭示スベシ

第二十六條 正當ノ理由ナクシテ旅人ノ宿泊ヲ拒絕スベカラス

第二十七條 旅人宿營業人ハ左ノ書式ニ從ヒ宿泊人名簿ヲ調製シ宿泊人發着毎ニ原簿ニ記入シ且甲乙書式ニ從ヒ所轄警察署又ハ分署ニ届出ベシ

但警察署分署ナキ地ハ甲乙書式ノ届出ヲナスニ及バス(書式略ス)

第三章 下宿屋

第二十八條 下宿屋トハ一ヶ月ノ賄料座敷料等ヲ約定シ寄寓セシムルモノヲ云フ

第二十九條 下宿屋營業人ハ下宿人ノ族籍住所職業氏名年齢及下宿ノ事由ヲ記シタル届書ヲ所轄警察署又ハ分署ニ差出シ檢印ヲ受ケ所持スベシ

第三十條 本則第二十一條第二十二條第二十三條第二十四條ハ下宿屋ニ於テモ適用スベシ

第三十一條 下宿屋ハ下宿人ノ族籍氏名ヲ記シタル木札ヲ店頭又ハ門戸ニ揭示スベシ

第三十二條 下宿人他ニ轉宿シ又ハ二日以上外泊シテ其所在不分明ナル時ハ所轄警察署又

ハ分署ニ届出スベシ

第四章 木賃宿

第三十三條 木賃宿ハ宿泊人滞在中外泊シタル者アルトキハ所轄警察署又ハ分署ニ届出スベシ

但警察署分署ナキ地ハ帳簿ニ記入シ警察官吏ノ調査ニ備フベシ

第二十四條 宿泊人届出方ハ本則第二十七條ノ例ニ従フベシ

第三十五條 本則第二條第四條第十一條第十五條第十六條第十七條第十九條第二十七條第

二十九條第三十二條第二十四條ニ違背シタル者及第七條ニ違背シ組合ニ入ラズシテ營業ヲ爲シタル者ハ違警罪ヲ以テ罰セラルベシ

外國人止宿取締(明治廿四年十二月北海道廳令第五十一號)

宿屋營業者ト否トニ拘ハラス外國人ヲ宿泊セシメタルトキハ左之事項ヲ詳記シ速ニ所轄警察署又ハ分署ヘ届ケ出ベシ但遊歩規程外ノ地ニ於テハ旅行免狀ヲ携帯セサル者ヨリ宿泊ノ申込ヲ受ケタルキハ即時警察官吏ヘ届出ヘシ

一 國籍住所氏名年齢職業

二 宿泊ヲ要スル事由

三 宿泊一周間以上ニ及フ者ニ付テハ一周間毎ニ其滞在ヲ要スル事由

四 出發シタルトキハ其日時

本令ヲ犯シタル者ハ一日以上三日以下ノ拘留又ハ貳拾錢以上壹圓貳拾五錢以下ノ科料ニ處ス

湯屋取締規則

第一條 湯屋營業ヲ爲サントスル者ハ營業ニ供スル建物ノ構造圖面ヲ添ヘ所轄警察署又ハ

分署ニ願出許可ヲ受クベシ

第二條 烟筒其他ノ構造ハ左ノ制限ニ従フベシ

一 烟筒ハ屋上ヘ三尺以上突出セシメ其周圍一間四方ハ不燃質物ヲ覆蓋スベシ

二 焚物置場ハ火焚場ヨリ二間以上離隔スベシ

三 火消場並灰置場ハ坑穴ヲ作り隔日ノ使用ニ供スル爲メ中仕切ヲ設ケ其蓋ハ不燃質物ヲ用フベシ

第三條 前條ノ構造ハ新築改造ヲ問ハズ落成ノ上警察署又ハ分署ノ検査ヲ受クベシ



第四條 浴場ハ男女ノ區域ヲ設ケ混浴セシムベカラズ

第五條 火焚場及烟筒ハ毎月一回以上掃除スベシ

第六條 浴場並浴客ニ供スル場所ハ外部ヨリ見ヘザル様見隠ヲ設クベシ

第七條 營業時間ハ午後十二時限トス但烈風ノ時ハ時間ニ拘ハラズ休業スベシ

第八條 營業者ハ便宜組合ヲ設ケ規約ヲ定メ及取締人ヲ公撰シ警察署又ハ分署ニ届出ベシ

第九條 本則第一條第三條第四條ニ違背シタル者ハ違警罪ニ依リ罰セラルベシ

附 則

第十條 従前許可シタル湯屋ニシテ本則第二條ノ制限ニ抵触スルモノハ向後改築若クハ修繕ノ時ヲ期シ其制限ニ従ハシム

劇場取締規則(明治二十二年一月 北海道廳令第三號)

第一條 劇場ヲ開設セントスル時ハ座主タルベキ者願書ニ圖面ヲ添ヘ所轄警察署ヘ願出許可ヲ受クベシ

第二條 劇場ノ構造ハ新築改造ヲ間ハス左ノ制限ニ従フベシ

一 構造ハ堅牢ニシテ空氣ノ流通ヲ充分ナラシムベシ

一 木戸ハ扉ヲ外開ニナスベシ

一 客席ニ接シ二個以上ノ非常口ヲ設クベシ

一 高棧敷アルモノハ幅五尺以上ノ階子二個以上ヲ設クベシ

一 點火ノ場所ハ不燃質物ヲ以テ裝置スベシ

一 棧敷ノ通路ハ三尺以上タルベシ

一 周圍ハ各五間以上ノ火除地ヲ設クベシ

一 便所ハ客室ニ離隔シテ之ヲ設ク石敲キ若クハ漆喰等ヲ以テ構造シ尿尿ノ滲透及臭氣ノ漏泄ヲ防クベシ

漏泄ヲ防クベシ

第三條 劇場ハ新築改造トモ落成ノ上警察署ノ検査ヲ受クルニアラザレハ演劇興行ヲ許サズ

第四條 演劇ヲ興行セントスル時ハ仕組書ヲ添ヘ警察署又ハ分署ニ届出認可ヲ受クベシ

第五條 取締ノ爲メ臨場スル警察官ノ席場ハ豫テ警察署ノ指定スル所ニ設クベシ

第六條 演劇猥褻ニ涉リ又ハ世安ニ妨害アリト認めルルキハ之ヲ停止スルコトアルベシ

第七條 觀客ヲ樂屋ニ入レ若クハ俳優ヲ客席ニ入ラシムベカラズ

第八條 興業時間ハ午後十二時ヲ過クベカラズ

- 第九條 劇場及演劇ニ關スル一切ノ事項ハ座主其責ニ任ズルモノトス
- 第十條 高棧敷ハ觀客ノ員數ヲ定メ警察署ノ認可ヲ受クベシ
- 第十一條 高棧敷ニハ定員外ノ觀客ヲ入ルベカラズ
- 第十二條 廢場又ハ座主變換シタルトキハ所轄警察署ニ届出ベシ
- 第十三條 第四條ヨリ第九條マデノ規則ハ劇場外ノ演劇興行ニモ之ヲ適用ス
- 第十四條 本則第一條第三條第四條第七條第十條第十一條ニ違背シ若クハ第六條ニ依リ停止ノ處分ヲ受ケタル者ハ違警罪ニ依リ罰セラルベシ

附 則

- 第十五條 従前許可シタル劇場ニシテ本則第二條ノ制限ニ抵觸スルモノハ向後改築若クハ修繕ノ時ヲ期シ其制限ニ從ハシム

寄席取締規則(明治二十二年一月  
北海道廳令第六號)

- 第一條 寄席營業ヲナサントスルキハ席主タルベキ者其願書ニ寄席ノ構造圖面ヲ添へ所轄警察署へ願出許可ヲ受クベシ
- 第二條 寄席ニ於テハ特ニ警察署又ハ分署ノ許可ヲ受クルニアラザレハ左ノ演藝ノ外興行

ズルヲ許サズ

- 一講 談 一落 語 一淨 瑠 璃 一 手 躍 一 唄
- 一音 曲 一寫 繪 一操 人 形 一 手 品

- 第三條 世安ヲ害シ風俗ヲ紊ルノ演藝ヲナサシムベカラズ
- 第四條 客席ヲ暗黒ニシ又ハ客ヲ樂屋ニ入ラシムベカラズ
- 第五條 興業毎ニ演藝者ノ族籍氏名及藝名技藝トモ所轄警察署又ハ分署ニ届出ベシ
- 第六條 無鑑札ノモノニハ演藝セシムベカラズ(二十二年二月廳令第十五號ヲ以テ當分ノ内之ヲ施行セズ)
- 第七條 高棧敷アルモノハ客ノ員數ヲ定メ警察署又ハ分署ノ認可ヲ受ク定員外ノ客人ヲ入ルベカラズ
- 第八條 席場ハ渾テ清潔ニシ便所ハ臭氣ノ客席ニ及ハザル様構造スベシ
- 第九條 夜間ハ十二時限リ閉席スベシ
- 第十條 廢業又ハ席主變換シタルトキハ十日以内ニ所轄警察署又ハ分署ニ届出ベシ
- 第十一條 本則第一條第二條第三條第四條第五條第六條第七條ニ違背シタル者ハ違警罪ニ依リ罰セラルベシ

(十六) 交通

街路取締規則(明治二十二年十一月)  
北海道廳令第六十五號

施行ノ場所 札幌函館根室福山江差小樽ノ六市街

第一章 通則

第一條 街路ト稱スルハ市街ノ道敷及道敷ニ沿フタル下水並橋梁トス  
第二條 本則ニ於テ自費ヲ以テ爲ス可キ義務ヲ怠ル時ハ官ニ於テ執行シ其費用ヲ徴收ス可シ

第二章 街路ノ安寧及保存

第三條 街路ニ建物軒檐等ヲ設ケ又ハ出スベカラズ

但左ノ制限ニ從フモノハ此限ニアラズ

- 一 釣看板ハ地盤ヲ距ル一丈以上ニ限リ二尺以内
- 二 軒檐ハ地盤ヲ距ル九尺以上ハ二尺以内六尺以上ハ一尺五寸以内
- 三 日除ハ支柱ヲ用ヒス地盤ヲ距ル七尺以上ニ限リ四尺以内
- 四 掲燈ハ地盤ヲ距ル六尺以上ニ限リ一尺以内
- 五 煙筒ハ地盤ヲ距ル六尺以上ニ限リ二尺五寸以内

六 雪圍ハ道幅五間以上ハ六尺以内右以下ハ三尺以内

第四條 左ノ事項ハ其場ノ圖面ヲ添ヘ所轄郡區役所ヲ經由シテ本廳ニ願出許可ヲ受クベシ

一 街路ヲ私費ニテ新設變更又ハ廢除スル事

第五條 左ノ事項ハ其場ノ圖面ヲ添ヘ所轄郡區役所又ハ戶長役場ニ願出許可ヲ受クベシ

一 街路ヲ私費ニテ修繕スル事

第六條 左ノ事項ハ所轄警察署ニ願出許可ヲ受クベシ

- 一 街路ニ床店又ハ葦簀張ヲ設クル事
- 二 街路ニ樹木ヲ植ヘ又ハ旗柱街燈ヲ建ツル事
- 三 街路ニ柵欄支柱ヲ設ケ又ハ齒止石ヲ置ク事
- 四 街路ニ華表碑表指道標其他公衆ノ用ニ供スル標識ヲ建設スル事
- 五 街路ニ目塗土置場ヲ設クル事
- 六 工事又ハ商業ノ爲メ街路ニ一時竹木土石類ヲ置キ若クハ板圍繩張足代ヲ設ケ其他街路ヲ使用スル事
- 七 街路ヲ經テ建物ヲ移シ又ハ街路ヲ壅塞スベキ長大ノ物件ヲ運搬スル事
- 八 神佛祭典又ハ歲市ノ節街路ニ一時舞臺小屋掛店飾ヲ設クル事

九 街路ニ神輿山車又ハ手踊屋臺ヲ出ス事

十 工事ノ爲メ一時通行ヲ禁止スル事

十一 祭典興行等ノ節一時街路ニ旗ヲ建テ又ハ釣提灯ヲ設クル事

十二 街路ニ本則第三條六項制限外ノ雪圍ヲ設クル事

十三 街路ニ於テ荷造木挽其他ノ作業ヲ爲ス事

第七條 街路ヲ使用シテ之ヲ毀損シタルキハ直ニ原形ニ復スベシ

第八條 街路ニ出タル軒檐ニ雨樋ヲ設ケタル時ハ檐溜又ハ下水ノ外街路ノ地盤ニ流出スルヲ得ズ

第九條 街路ニ沿フタル宅地ニシテ興行九尺以上ノ空地アル場所ハ其模様ニ依リ道敷ノ境界ニ墻塀ヲ設クベシ

第十條 街路ニ沿フタル場所ニ竹木ヲ立置ク時ハ鐵鎖又ハ強靱ナル繩索ヲ以テ纏束シ薪炭其他ノ物件ヲ堆積スル時ハ頓仆セザル様堅牢ノ裝置ヲ爲スベシ

第十一條 街路ニ沿フル建設物及樹木等崩壞頓仆ノ虞アル時ハ速ニ修理撤去又ハ扶植伐採スベシ

第十二條 街路ニ竹木土石類其他運搬中ノ物件ヲ置クキハ路傍ニ片寄セ標識ヲ設クベシ

第十三條 街路及河川溝渠下水橋梁ヲ毀損壅塞シ街路ノ樹木ヲ伐採シ又ハ街路ヲ破毀消滅スベカラズ

第十四條 榜示指道標便所及墻壁等ヲ毀棄汚損シ又ハ樂書貼紙ヲナスベカラズ

第十五條 街路ニ家畜ヲ放置シ通行ノ妨害ヲ爲スベカラズ

第十六條 制止ヲ肯ゼズシテ街路ニ商品薪炭其他ノ物件ヲ排列シ又ハ出シ置クベカラズ

第十七條 街路ニ於テ火器ヲ弄シ又ハ焚火ヲナスベカラズ

第十八條 街路ニ於テ濫リニ放歌シ又ハ高吟喧噪シ若クハ偃臥スベカラズ

第十九條 街路ニ於テ指定シタル場所外ニ露店屋臺店ヲ出スベカラズ

第二十條 行商ニ用フル荷車ハ長サ八尺幅三尺屋臺店ハ長サ六尺幅四尺ヲ超過スベカラズ

第三章 街路ノ清潔

第二十一條 街路ハ常ニ清潔ニ掃除シ塵芥雜草ヲ存スベカラズ

第二十二條 街路ノ積雪ハ踏固メ又ハ取片付ヲ爲シ通行ヲ便ニスベシ

第二十三條 取片付タル雪ハ便宜妨害トナラサル場所ニ運ヒ置クベシ

第二十四條 炎天及風日ニハ時々街路ニ淨水ヲ洒グベシ

第二十五條 街路ノ掃除並降雪取片付及洒水ハ兩側ニ居住人アルモノハ其居住人ニ於テ街

路ノ中央ヨリ各一半ヲ負擔シ片側居住人ナキトキハ其全部ヲ負擔スベシ若シ兩側共ニ居住人ナキ時ハ地主又ハ借地人若クハ管理者ニテ負擔スベシ

第二十六條 街路ニ汚水ヲ注クベカラズ

第二十七條 街路ニ塵芥其他汚穢物ヲ投棄スベカラズ

第二十八條 下水ハ毎年二回以上浚渫スベシ其渫ヒ揚タル淤泥塵芥等ヲ街頭ニ置クベカラズ

第二十九條 街路ニ於テ便所ニアラザル場所ニ大小便ヲ爲シ又ハ爲サシムベカラズ

第三十條 街路ヲ運搬スル物品ハ墜落漏出又ハ飛散セシムベカラズ

第三十一條 街路ニ臨ミタル屋根根物干又ハ窓手摺等ニ危険ナル物品若クハ見苦敷物品ヲ置クベカラズ

第四章 街路ノ通行

第三十二條 牛馬及諸車諸櫛ハ夜中燈火ナクシテ疾驅スベカラズ

第三十三條 馬車牛車及馬櫛ハ路幅三間以内ノ街路ヲ通行スベカラズ  
但其街路ニ沿フタル家屋ニ出入スルモノハ此限ニアラズ

第三十四條 小兒車ノ外ハ跡押ノミニテ運轉スベカラズ但阪路ハ此限ニアラズ

第三十五條 末口ノ尖リタル竹木等ヲ運搬スル時ハ其末口ヲ纏束スベシ

第三十六條 牛馬及諸車諸櫛ハ車馬道ノ設アル地ハ左側其他ハ街路ノ中央ヲ通行スベシ但降雪中ハ行人妨害トナラザル様避讓スベシ

第三十七條 牛馬及諸車諸櫛ヲ並べ輓キ又ハ濫リニ疾驅シテ通行ノ妨害ヲナスベカラズ

第三十八條 荷馬車及荷馬櫛ヲ疾驅スベカラズ但櫛ハ馬首ニ鈴ヲ結束スベシ

第三十九條 車及櫛ハ二臺以上ヲ連繫シテ輓クベカラズ但長大ノ物件ヲ運搬スルタメ數臺ヲ連結スルハ此限ニアラズ

第四十條 牛馬ハ口取ナクシテ退立又ハ二頭以上ヲ連繫シテ牽クベカラズ但賣買等ノ爲メ輸送スル牛馬及營業ノタメ官許ヲ得タルモノハ此限ニアラズ

第四十一條 口取ナクシテ轡ナキ馬ニ乗ルベカラズ

第四十二條 車馬及歩行者行逢フ時ハ互ニ左ニ避ケ軍隊並砲車輜重車ニ對シテハ右ニ避ケ

第四十三條 實車ニ對シテハ空車之ヲ避ケ阪路ハ上リ車又ハ空車ニ於テ避讓スベシ

第四十四條 前車徐行シ後車疾行セントスルモハ後車ヨリ合圖ヲナシ前車ハ右ニ避ケ後車ハ左ヲ通過スベシ

- 第四十五條 郵便用消防用ニ供スル車馬又ハ葬送等ニ行途フ時ハ避讓スベシ
- 第四十六條 往來雜沓又ハ狹隘ノ場所及街角橋上ヲ通行スル車馬ハ徐行スベシ
- 第四十七條 車馬街角ヲ通行スル時ハ右ハ大廻ヲナシ左ハ小廻ヲナスベシ
- 第四十八條 牛馬諸車其他通行ニ妨害アル物件ヲ街路ニ置クベカラズ
- 第四十九條 制止ヲ肯ゼズシテ出火場其他雜沓ノ場所ニ牛馬諸車ヲ牽入ルベカラズ
- 第五十條 街角橋上其他往來ノ妨害トナルベキ場所ニ牛馬諸車ヲ駐止スベカラズ
- 第五十一條 街路ニ佇立シ又ハ空車ヲ輓テ彷徨シ通行ノ妨害ヲナスベカラズ
- 第五十二條 街路ニ於テ犬其他ノ獸類ヲ嘯シ又ハ驚逸セシメ若クハ殘虐ニ扱フベカラズ
- 第五十三條 制止ヲ育ゼズシテ街路ニ於テ紙鳶ヲ揚ケ又ハ獨樂手毬ヲ弄シ若クハ雪投雪之等ヲ爲スベカラズ
- 第五十四條 街路ニ於テ坐席ヲ設ケ軍談輕業其他人寄ヲ爲スベカラズ
- 第五十五條 人道車馬道ノ區別アル場所ニ在テハ牛馬諸車諸櫛ヲ人道ニ牽入ルベカラズ但人道ニ於テ小兒車ヲ押ス者及居住者ハ此限ニアラズ
- 第五十六條 本則第三條第四條第五條第六條第十三條第十四條第十六條第十七條第十八條第二十六條第二十七條第二十九條第三十二條第三十三條第三十四條第三十六條但書第三十七條第三十八條第三十九條第四十條第四十一條第四十八條第四十九條第五十條第五十一條第五十二條第五十三條第五十四條第五十五條第五十六條第五十七條第五十八條第五十九條第六十條第六十一條第六十二條第六十三條第六十四條第六十五條第六十六條第六十七條第六十八條第六十九條第七十條第七十一條第七十二條第七十三條第七十四條第七十五條第七十六條第七十七條第七十八條第七十九條第八十條第八十一條第八十二條第八十三條第八十四條第八十五條第八十六條第八十七條第八十八條第八十九條第九十條第九十一條第九十二條第九十三條第九十四條第九十五條第九十六條第九十七條第九十八條第九十九條第一百條

十七條第三十八條第三十九條第四十條第四十一條第四十八條第四十九條第五十條第五十一條第五十二條第五十三條第五十四條第五十五條第五十六條第五十七條第五十八條第五十九條第六十條第六十一條第六十二條第六十三條第六十四條第六十五條第六十六條第六十七條第六十八條第六十九條第七十條第七十一條第七十二條第七十三條第七十四條第七十五條第七十六條第七十七條第七十八條第七十九條第八十條第八十一條第八十二條第八十三條第八十四條第八十五條第八十六條第八十七條第八十八條第八十九條第九十條第九十一條第九十二條第九十三條第九十四條第九十五條第九十六條第九十七條第九十八條第九十九條第一百條

二條第五十三條第五十四條第五十五條ニ違背シタル者ハ違警罪ヲ以テ罰セラルベシ但刑法ニ正條アルモノハ其本法ニ從フ

人馬車繼立營業規則 (廿一年四月北海道 廳令第二十六號)

- 第一條 人馬車繼立營業トハ賃錢ヲ受ケ馬諸車櫛及人足ヲ以テ貨物其他ヲ運送スル者ヲ云フ
- 第二條 前條營業ノ者ハ每驛必ズ一組合ヲ設ケ各自戶外ニ第一號離形ノ招牌ヲ掲グベシ但驛外居住ノ者新タニ營業セントスル者ハ最寄組合ニ加入スベシ
- 第三條 組合ニ於テハ左ノ事項ヲ記載セル規則書ヲ作り郡區役所ヲ經届出デ認可ヲ受クベシ其改正加除ノ時亦同シ但組合ノ協議ニ依リ數驛聯合規約ヲ爲スモ妨ナシ
- 營業者少數ニシテ組合ヲ組織スル能ハザル場合ニ於テハ第一項第五項第七項ヲ除キ本條ニ準據スベシ
- 一人馬車繼立方法
- 一 繼立所ニ係ル費用並ニ取扱人ノ手當額及其收支方法
- 一人馬車ノ賃錢定額
- 一 繼立所ニ係ル費用並ニ取扱人ノ手當額及其收支方法

一 取扱人ノ任期

一 貨物損失ノ時辨償方法

一 規約違背者處分方法

第四條 組合ハ每驛一ヶ所ヲ限り人馬車繼立所ヲ設ケ取扱人一名ヲ置クベシ

第五條 取扱人ハ每驛組合ニ於テ組合人ヨリ公撰シ其被撰人ハ撰擧者總代一名身元保証人一名ノ連署ヲ以テ郡區長若クハ戸長ノ與書ヲ受ケ届出テ認可ヲ受クベシ

但認可ノ後ト雖モ時宜ニヨリ改撰ヲ命スルコトアルベシ

第六條 繼立所ニハ第二號雛形ノ招牌ヲ掲ゲ書式ノ取扱要領ヲ行旅ノ見易キ所ニ揭示スベシ

第七條 人馬車一人一個積載制限ヲ定ムル左ノ如シ

但本條制限迄ハ正當ノ事由アルニ非ザレバ拒ムコトヲ得ズ

種別	制限	種別	制限
人ノ足	七貫目迄	荷馬車	二頭曳 八十貫目迄
人力車	二人乗 各定員	馬	九十貫目迄
乗合馬車	二頭曳 各定員	馬	三十二貫目迄

第八條 總テ繼立時限ハ日出ヨリ日没マデトシ正當ノ事由アルニ非ザレバ猥リニ繼立申込

ノ時刻ヲ遅延スベカラズ

但至急ノ場合ハ本文時限ニ拘ハラズ繼立ベキモノトス

第九條 取扱人ハ左ノ事項ヲ取扱フベシ若シ事故アリ職務ヲ執行シ能ハザルモハ相當ノ代理者ヲシテ取扱ハシム

一 組合營業者ノ現員簿ヲ備ヘ置ク

一 繼立ニ係ル貨物並人馬車ノ員數賃錢及行旅人ノ姓名等ヲ詳記シ置ク

一 鑑札ヲ製シ營業者ニ付與スル

一 右ノ外繼立及組合ニ關スル必要ノ事項

第十條 營業者ハ左ノ各項ヲ遵守スベシ

一人馬車ヲ繼立テ組合外ノ地ニ到ラントスル者ハ組合驛繼立所ニ於テ隣驛迄ノ鑑札ヲ受クベシ若シ之レヲ受ル能ハザル場合ニ於テハ通過驛若クハ到達驛ノ繼立所ニ就キ該鑑札ヲ受ル

一 組合ノ内外ヲ問ハズ繼立所ニ於テ鑑札ヲ検査スルモ之ヲ拒ムコトヲ得ズ

一 組合外ノ地ニ到リ營業スルモ其地組合規約ニ從フ

第十一條 此規則第二條第三條第四條第五條第六條第七條第八條第九條第十條ニ違背

シタルモノハ違警罪ヲ以テ罰セラルベシ

乗合馬車取締規則(明治二十二年十一月北海道廳令第七十一號)

施行ノ地名

札幌、札幌ヨリ室蘭ニ至ル、札幌ヨリ石狩ニ至ル、函館區内、函館ヨリ森ニ至ル、函館ヨリ江差ニ至ル、函館ヨリ下湯川ニ至ル、小樽市街、壽都、湖路、森間

第一章 通則

第一條 乗合馬車營業ヲ爲サントスル者ハ所轄警察署又ハ分署ニ願出免許證ヲ受クベシ

第二條 營業人ニ關スル願届ハ總テ取締ノ加印ヲ要ス

第三條 營業人ハ馭者馬丁ノ住所氏名年齢ヲ所轄警察署又ハ分署ニ届出一人ニ付鑑札一個ヲ受クベシ

第四條 營業人自ラ馭者馬丁ノ業ヲ爲サントスルキハ總テ馭者馬丁ノ例ニ從フベシ

第五條 馭者馬丁ノ鑑札ハ毎年一回所轄警察署又ハ分署ノ檢査ヲ受クベシ其檢査ヲ受ケザル者ハ無効タルベシ

第六條 車體及馬匹ハ營業出願ノ節及毎年四月所轄警察署又ハ分署ノ檢査ヲ受ケ其證ヲ受

クベシ其買受讓受ヲ爲シ又ハ車體ヲ新造改造シタル時ハ定期ニ拘ハラズ同上ノ手續ヲナスベシ

第七條 左ノ場合ニ於テハ所轄警察署又ハ分署ニ届出書換又ハ再渡ヲ請フベシ

一 轉居改氏名其他免許識車馬檢査證鑑札面ニ異同ヲ生ジタル時

二 免許證車馬檢査證鑑札ヲ遺失毀損シ又ハ其文字不明ニ至リタル時

第八條 左ノ場合ニ於テハ所轄警察署又ハ分署ニ届出免許證車馬檢査證又ハ鑑札ヲ返納スベシ

一 廢業又ハ車馬ノ使用ヲ廢シタル時

二 車馬ヲ賣渡シ又ハ讓渡シタル時

三 馭者馬丁ノ使用ヲ罷メタル時

第九條 免許證車體檢査證鑑札ハ之ヲ貸與スベカラズ

第十條 乗客ノ員數ハ車體馬力ニ應ジ之ヲ定メ所轄警察署又ハ分署ノ認可ヲ受クベシ

第十一條 車體檢査證ハ車體内部ノ見易キ所ニ釘付シ馬匹檢査證ハ馬首ニ結着スベシ

第十二條 檢査證アル車馬ト雖モ第十三條第十四條ノ制限ニ適セズ又ハ危險ノ虞アルモノ及不潔ニ至リタルモノハ其使用ヲ差止ルコトアルベシ



第二章 車體馬匹及器具

第十三條 車體ハ堅牢ニシテ其構造及附屬品ハ左ノ制限ニ從フベシ

一 車ハ四輪以上ニシテ適當ナル駐車器ヲ備フベキモノトス

二 車體ハ無地漆塗等ニシテ屋根ハ木製其他適當ノモノヲ以テ設クベシ

三 客坐ハ清潔ニ適當ノ裝置ヲ爲スベキモノトス但一人ノ坐席ハ幅一尺二寸ヲ下ルベカラズ

四 車體其他ノ附屬品トモ總テ堅牢強靱ノモノヲ用フベシ

第十四條 馬匹ハ滿三歳以上強壯ニシテ惡癖ナキモノニ限ルベシ

第三章 馭者馬丁ノ資格及服裝

第十五條 馭者ハ滿十八年以上馬丁ハ滿十七年以上ニシテ身體強壯ナル者且馭者ハ馭術ニ

熟達スル者ニ限ルベシ

第十六條 前條ノ資格ニ適合スト雖モ左ノ各項ニ觸ル、モノハ馭者馬丁タルヲ得ズ

一 暴行醉壯ノ癖アル者

二 監視中ノ者

三 強盜強姦及過失ニアラザル殺傷罪ヲ犯シタル者

第十七條 馭者馬丁ノ服裝ハ筒袖ニズボシ股引ノ類ヲ用フベシ

第四章 馭者馬丁就業制限

第十八條 馭者馬丁ハ鑑札ヲ所持シ警察官吏又ハ乘客ニ於テ見ンコトヲ求メタルキハ直ニ之

ヲ示スベシ

第十九條 馭者ハ馬車ヲ離ルベカラズ但止ムヲ得ザル事故アル時ハ馬丁又ハ其他ノモノヲ

シテ馬車ノ管守ヲ爲サシメ進行ヲ止ムベシ

第二十條 往來ノ妨害トナルベキ場所ニ馬車ヲ置クベカラズ

第二十一條 老幼及婦女昇降ノ際ハ懇篤ニ保護ヲナスベシ

第二十二條 乘客着席シ又ハ降車シ畢リタル後ニアラザレハ車ヲ運轉スベカラズ

第二十三條 乘客中粗暴ノ所爲アルキハ之ヲ制止シ若シ肯ゼザル時ハ降車セシムベシ

第二十四條 馭者臺ニ客ヲ乗載シ又ハ屋根ニ物品ヲ載スベキ構造ヲ爲サズシテ物品ヲ載ス

ベカラズ

第二十五條 制止ヲ肯ゼズシテ出火場其他群集ノ場所ニ馬車ヲ入ルベカラズ

第二十六條 他入チシテ車ヲ馭セシムベカラズ

第二十七條 馬車ヲ並べ馳セ又ハ濫ニ疾驅シ若シクハ競走スベカラズ

第二十八條 馬車ノ通行及避讓方ハ左ノ例ニ從フベシ

一 馬車ハ道路ノ中央ヲ通行シ車馬及歩行者ニ行逢フ時ハ左ニ避ケ軍隊並砲車輜重車ニ對シテ右ニ避クベシ

二 實車ニ對シテハ空車之ヲ避ケ坂路ハ上リ車又ハ空車ニ於テ避讓スベシ

三 前車徐行シ後車疾行セントスル時ハ後車ヨリ相當ノ合圖ヲ爲シ前車ハ右ニ避ケ後車ハ左ヲ通過スベシ

四 郵便用消防用ニ供スル車馬又ハ葬送等ニ行逢フ時ハ避讓スベシ

五 二車以上引續キ行進スル時ハ後車ハ前車ヨリ相當ノ距離ヲ取ルベシ

第二十九條 往來雜沓又ハ狹隘ノ場所及街角橋上ヲ通過スル時ハ徐行シ相當ノ合圖ヲ爲シ且馬丁アルモノハ前行セシムベシ街角ニ於テハ右ニ大廻ヲナシ左ハ小廻ヲ爲スベシ

第三十條 街角橋上其他往來ノ妨害トナルベキ場所ニ於テ客ヲ昇降セシムベカラズ

第三十一條 馬匹ヲ殘虐ニ使用スベカラズ

第三十二條 夜中燈火ナクシテ行車スベカラズ

第三十三條 定員三分ノ一以上ノ乗客アルトハ正當ノ理由ナクシテ出車ヲ拒ムベカラズ

第三十四條 乗客降車ノ際ハ其遺留品ナキヤニ注意シ若シ之アル時ハ直ニ返付スベシ其主

分明ナラザルモハ速ニ最寄警察署分署又ハ巡查交番所ニ届出ベシ

第五章 乗載制限

第三十五條 定員外ノ客ヲ乗載スベカラズ但十年未滿ノモノハ二人ヲ以テ一人ト見做シ三年未滿ノモノハ定員外トス

第三十六條 左ニ記載シタルモノハ乗載スベカラズ

- 一 六種傳染病者及癩病者
- 二 汚穢物其他惡臭ヲ發シ又ハ汚染ノ憂アル物品

第六章 賃 錢

第三十七條 賃錢ハ人馬車繼立營業規則ニ依リ認可ヲ受ケタル賃額ヲ所轄警察署又ハ分署ニ届出且車内見易キ所ニ揭示スベシ

第三十八條 何等ノ名義ヲ以テスルモ乗客ニ對シ賃錢定額外ノ金額ヲ請求スベカラズ

第七章 營業組合

第三十九條 乗合馬車營業人ハ警察署又ハ分署部内ヲ以テ區域トシ組合ヲ設クベシ但部内ノ狀況ニ依リ警察署又ハ分署ノ認可ヲ受ケ便宜之ヲ數組トスルヲ得

第四十條 組合ニ入ラズシテ營業ヲ爲スベカラズ

第四十一條 組合ニ於テハ規約ヲ設ケ所轄警察署又ハ分署ノ認可ヲ受クベシ  
第四十二條 組合ニハ營業人中ヨリ取締一人ヲ公撰シ所轄警察署又ハ分署ノ認可ヲ受クベシ

第四十三條 取締ニ於テ取扱フベキ事項左ノ如シ

- 一 乗合馬車營業ニ關スル規則命令ヲ營業人ニ通知スル事
  - 二 組合營業人ノ願届ニ加印スル事
  - 三 取締ノ選舉ニ關スル事務ヲ取扱フ事
- 右ノ外規約ヲ以テ定メタル事項

第四十四條 警察署又ハ分署ニ於テ取締ニ不都合アリト認ムルハ改撰セシムルコトアルベシ

第四十五條 乗合馬櫛營業ヲ爲ス者ハ總テ本則ニ從フベシ但客ヲ乗載スル函ノ構造制限及ヒ裝置等ハ車體ニ準シ且馬首ニハ鈴ヲ結着スベシ

第四十六條 乗合馬車營業人ハ引續キ乗合馬櫛營業ヲ爲スヲ得

第八章 罰 例

第四十七條 本則第一條第三條第四條第六條第七條第九條第十條第十一條第十八條第十九

條第二十條第二十二條第二十四條第二十五條第二十六條第二十七條第三十條第三十一條第三十二條第三十三條第三十五條第三十六條第三十七條第三十八條第四十條第四十五條ニ違背シタルモノハ違警罪ヲ以テ罰セラルベシ

營業人力車取締規則(明治二十二年十一月)

施行ノ場所 札幌區、札幌郡豐平村、函館區、龜田郡龜田村、龜田郡下湯川村、

小樽市街、江差市街

第一章 通 則

第一條 人力車營業トハ輓子ヲシテ車ヲ輓カシメ又ハ自ラ輓子トナリ營業スルヲ云フ

第二條 人力車營業ヲ爲サントスル者ハ所轄警察署又ハ分署ニ願出免許證ヲ受クベシ

第三條 營業人ニ關スル願届ハ總テ取締ノ加印ヲ要ス

第四條 營業人ハ輓子ノ族籍住所氏名年齢ヲ所轄警察署又ハ分署ニ届出一人ニ付鑑札一個ヲ受クベシ

第五條 營業人自ラ車ヲ輓ク時ハ總テ輓子ノ例ニ從フベシ

第六條 輓子ノ鑑札ハ毎年四月所轄警察署又ハ分署ノ検査ヲ受クベシ其検査ヲ受ケザルモ

ノハ無効タルベシ

第七條 車體ハ營業出願ノ節及毎年四月所轄警察署又ハ分署ノ検査ヲ受ケ其證ヲ受クベシ  
其新造改造又ハ讓受ヲ爲シタルキハ定期ニ拘ハラズ届出検査ヲ受クベシ

第八條 左ノ場合ニ於テハ所轄警察署又ハ分署ニ届出書替又ハ再渡ヲ請フベシ

一 轉居改氏名其他免許證車體検査證鑑札面ニ異同ヲ生シタル時

第九條 左ノ場所ニ於テ所轄警察署又ハ分署ニ届出免許證車體検査證又ハ鑑札ヲ返納スベシ

一 廢業又ハ廢車シタル時

二 人力車ヲ賣渡シ又ハ讓渡シタル時

三 輓子ノ使用ヲ罷メタル時

第十條 免許證車體検査證鑑札ハ之ヲ貸與スベカラズ

第十一條 車體検査證ハ車ノ蹴込板正而ニ釘付スベシ

第十二條 検査證アル車ト雖モ第十三條ノ制限ニ違ヒ又ハ破損若クハ不潔ニ至リタルヲ認ムル時ハ其使用ヲ差止ムベシ

第二章 車體ノ構造及輓子ノ資格

第十三條 車體ハ堅牢ニシテ其構造及附屬品ハ左ノ制限ニ從フベシ

一 一人乗ハ横巾内法二尺未滿二人乗ハ同上二尺以上タルベシ

二 車體ハ無地漆塗等ニシテ中張ハ革天鷲絨羅紗其他適當ノモノヲ用フベシ

三 車體ニ同キ塗色ノ泥除ヲ備フベシ

四 ゴム引又ハ桐油製ノ母衣及前掛ヲ備フベシ

五 不潔ナラザル蒲團及膝掛ヲ備フベシ

六 細長提灯ヲ備ヘ且蠟燭摺附木ヲ用意スベシ

第十四條 輓子ハ左ノ資格ヲ有スルモノニ限ルベシ

一 年齢滿十七年以上ニシテ身體強壯ナル者

二 其土地ノ路程ヲ畧知スル者

第十五條 前條ノ資格ニ適合スト雖モ左ノ各項ニ觸ルハ者ハ輓子タルヲ得ズ

一 監視中ノ者

二 強竊盜強姦及幼者ヲ畧取誘拐スル罪若クハ過失ニアラザル殺傷罪ヲ犯シタル者

第十六條 輓子ノ服装ハ法被股引ノ類ヲ用フベシ

第三章 輓子就業制限

第十七條 輓子ハ鑑札及賃錢表ヲ所持シ警察官又ハ乘客ニ於テ見シテ求メタル時ハ直ニ之ヲ示スベシ

第十八條 路上ニ彷徨シ又ハ佇立スベカラズ

第十九條 往來ノ妨害トナルベキ場所ニ人力車ヲ置ベカラズ

第二十條 乘客ノ指定セザル宿泊店飲食店及其他ノ場所ニ輓入ルベカラズ

第二十一條 制止ヲ肯ンゼズシテ出火場其他群集ノ場所ニ輓入ルベカラズ

第二十二條 人力車ノ通行及避讓方ハ左ノ例ニ從フベシ

一 人力車ハ道路ノ中央ヲ通行シ車馬及歩行者ニ行逢フ時ハ左ニ避ケ軍隊並砲車輜重車ニ對シテハ右ニ避クベシ

二 實車ニ對シテハ空車之ヲ避ケ阪路ハ上リ車又ハ空車ニ於テ避讓スベシ

三 前車徐行シ後車疾行セントスル時ハ後車ヨリ合圖ヲ爲シ前車ハ右ニ避ケ後車ハ左ヲ通過スベシ

四 郵便用消防用ニ供スル車馬又ハ葬送等ニ行逢フ時ハ避讓スベシ

第二十三條 往來雜沓又ハ狹隘ノ場所及街角橋上ヲ通過スル時ハ徐行スベシ且街角ヲ過クル時ハ右ハ大廻ヲ爲シ左ハ小廻ヲナスベシ

第二十四條 車ヲ並べ輓キ又ハ連繫シテ輓クベカラズ

第二十五條 夜中燈火ナクシテ疾驅スベカラズ

第二十六條 街角橋上其他往來ノ妨害トナルベキ場所ニ於テ客ヲ昇降セシムベカラズ

第二十七條 乘客降車ノ際ハ其遺留品ヲキヤニ注意シ若シ之アリタル時ハ直ニ還付スベシ其主分明ナラザル時ハ速ニ最寄警察署分署又ハ巡查交番所ニ届出ベシ

第四章 車賃

第二十八條 人力車ノ賃錢ハ人馬車繼立營業規則ニ依リ認可ヲ受ケタル賃銀ヲ所轄警察署又ハ分署ニ届出ベシ

第二十九條 何等ノ名義ヲ以テスルモ乘客ニ對シ定額外ノ賃錢ヲ請求スベカラズ

第三十條 瀛車停車場其他群集ノ場所ニ至ラントスル時ハ到着前其賃錢ヲ請求スルヲ得

第五章 乗載制限

第三十一條 一人乗ニ二人二人乗ニ三人以上ヲ乗載スベカラズ

但十年未滿ノモノハ二人ヲ以テ一人ト見做シ三年未滿ノ者ハ定員外トス

第三十二條 左ニ記載シタルモノハ人力車ニ乗載スベカラズ

但警察官吏ノ認可ヲ得タル時ハ此限ニアラズ

- 一 六種傳染病者及癩病者
- 一 汚穢物其他車ヲ汚染シ又ハ惡臭ヲ留ムベキ物品

第六章 營業組合

第三十三條 人力車營業人ハ警察署又ハ分署部内ヲ以テ區域トシ組合ヲ設クベシ

但部内ノ狀況ニ依リ警察署又ハ分署ノ認可ヲ受ケ便宜之ヲ數組トスルヲ得

第三十四條 組合ヲ設ケズ又ハ組合ニ入ラズシテ營業ヲ爲スベカラズ

第三十五條 組合ニハ營業人中ヨリ取締一人ヲ公撰シ所轄警察署又ハ分署ノ認可ヲ受クベシ

第三十六條 組合ニ於テハ規約ヲ定メ所轄警察署又ハ分署ニ届出認可ヲ受クベシ

第三十七條 取締ニ於テ取扱フベキ事項左ノ如シ

- 一 人力車營業ニ關スル規則命令ヲ營業人ニ通知スル事
- 二 組合營業人ノ願届ニ加印スル事
- 三 取締ノ撰擧ニ關スル事務ヲ取扱フ事

右ノ外規約ヲ以テ定メタル事項

第三十八條 警察署又ハ分署ニ於テ取締ニ不都合アリト認ムル時ハ改撰セシムルコトアルベシ

第三十九條 雪中函橋等ヲ以テ人力車ニ換フルモノハ總テ本則ニ從フベシ

第七章 罰例

第四十條 本則第二條第四條第五條第七條第八條第十條第十一條第十七條第十九條第二十二條第二十一條第二十四條第二十五條第二十六條第二十九條第三十一條第三十二條第三十九條ニ違背シタルモノ及第三十四條ニ違背シ組合ニ入ラズシテ營業ヲ爲シタルモノハ違背罪ヲ以テ罰セラルヘシ

但刑法ニ正條アルモノハ其本法ニ從フ

港内取締規則(明治二十三年四月北 海運廳令第十八號)

第一條 本則ハ第二章ニ記載スル各港内及其海岸地ニ適用ス

第二條 左ノ事項ハ圖面ヲ添へ所轄警察署ヲ經由シ本廳ニ願出許可ヲ受クベシ

- 一 船舶定錨標ヲ設置及改造スル事
- 二 棧橋架設又ハ標燈其他ノ目標ヲ建設及改造スル事

第三條 左ノ事項ハ圖面ヲ添へ所轄郡役所ヲ經由シ本廳ニ願出許可ヲ受クベシ

- 一 波止場物揚場石垣板柵等ヲ築造建設及改造スル事
- 第四條 左ノ事項ハ圖面ヲ添ヘ所轄警察署ニ願出許可ヲ受クベシ  
但函館港ニ於テハ第六項第七項ハ仲濱町分署ニ本文ノ手續ヲナスベシ
  - 一 繫船杭又ハ筏等ノ繫留杭ヲ建設改造及修理スル事
  - 二 波除杭石垣根留等ヲ建設改造及修理スル事
  - 三 棧橋標燈其他ノ目標及波止場物揚場石垣板柵等ヲ修理スル事
  - 四 海中浚渫又ハ土砂ヲ採掘スル事
  - 五 游泳場ヲ設クル事
  - 六 波止場物揚場及海岸地ニ一夜以上諸車其他ノ物品ヲ置ク事
  - 七 足代ヲ設クル事
  - 八 花火其他火枝ヲ弄スル事
- 第五條 左ノ事項ハ二日以前所轄警察署ニ届出ベシ
  - 一 船舶ノ進水式ヲ執行スル事
  - 二 端艇ノ競漕ヲ執行スル事
  - 三 施餓鬼ヲ執行スル事

- 第六條 第二條第三條第四條ノ各項ニシテ一旦許可シタルモノト雖モ不都合ノ廉アリト認ムル時ハ之ヲ差止メ又ハ改造ヲ命スルコトアルベシ
- 第七條 前條ニ記載シタル各條ノ各項ニシテ撤去又ハ讓受等ヲナシタル時ハ速ニ許可ヲ受ケタル官署ニ届出ベシ
- 第八條 船舶及筏等ハ他ノ船舶出入ノ航路ニ障礙ナキ場所ヲ撰ミ碇泊スベシ  
但シ障礙ノ場所ト認ムル時ハ他ニ碇泊ヲ命スルコトアルベシ
- 第九條 船舶ノ燈火及航法ハ明治十三年第三十五號公布海上衝突豫防規則ニ遵フベシ
- 第十條 軍艦ヲ除クノ外火藥其他破裂質ヲ含有スル物品ヲ搭載シタル船舶又ハ傳染病者ヲ搭載シタル船舶ハ速ニ所轄警察署(函館港ハ仲濱町分署)(又ハ水上巡邏ノ巡查)ニ届出其指示スル場所ニ碇泊スベシ  
其火藥及破裂質ヲ含有スル物品ヲ搭載セントスル時モ亦同シ
- 第十一條 港内ニ建物ヲ設ケ又ハ波止場物揚場棧橋海岸地等ニ車馬竹木其他ノ品物ヲ放置スベカラズ
- 第十二條 棧橋又ハ堤防ノ害トナルヘキ場所若クハ護岸ノ建設物並浮標礁標其他標木等ニ船舶及筏等ヲ繫留スヘカラズ
- 第十三條 波止場物揚場ノ沿岸ニ濫ニ船舶及筏等ヲ繫留スベカラズ

第十四條 他人ノ繫キタル船舶及筏等ヲ解放スベカラズ

第十五條 水路ニ船舶其他ノ物件ヲ横ヘ又ハ並列シテ通航ノ妨害ヲナスベカラズ

第十六條 港内及波止場物揚場其他沿岸堤防地等ニ塵芥瓦礫炭灰其他禽獸ノ死屍等渾テ障

害物ヲ投棄スベカラズ

第十七條 棧橋又ハ波止場物揚場外ニ於テ濫リニ乗客及荷物ノ揚卸ヲナスベカラズ

但棧橋ハ手荷物外ノ荷物ヲ積ミ卸シスルヲ得ズ

第十八條 夜間燈火ナクシテ乗客及荷物ノ揚卸ヲナスベカラズ

第十九條 港内ニ於テ濫ニ發砲スベカラズ

第二章 各港

第二十條 函館港ハ山脊泊町南端ヨリ上磯郡上磯村有川末流ニ至ル直線ヲ以テ其經界トス

第二十一條 根室港ハ辨天嶋西端ヨリ陸地マテ及同嶋東端ヨリ根室村字ベンケモイ岬ニ至

ル直線ヲ以テ其經界トス

第二十二條 根室港ハ瀛船ハ港内ノ中央ニ碇泊シ西洋形帆走船及日本形船ハ辨天島ニ沿フ

テ碇泊スベシ

第二十三條 小樽港ハ小樽郡熊碓村字平磯岬ヨリ高嶋郡高嶋村字底岬ニ至ル直線ヲ以テ其

經界トス

第三章 罰則

第二十四條 本則第二條第三條第四條第五條第七條第十條第十一條第十二條第十三條第十

四條第十五條第十六條第十七條第十八條第十九條ニ違背シタルモノハ違警罪ヲ以テ罰セ

ラルヘシ

但本則ニ明文アルモノニシテ刑法及他ノ規則ニ正條アルモノハ各其法律規則ニ從フ

河川航通船規則(明治二十三年五月北  
海運廳令第二十四號)

第一條 航通船トハ瀛船西洋形帆走船日本形船及筏ヲ總稱ス

第二條 河川ヲ航通スル船舶ハ上航下航共各其右方ヲ航行スベシ

駢航横航若クハ斜航シ他船ノ航路ヲ妨害スベカラズ

第三條 上航ノモノ下航ノモノニ遭遇スルトキハ上航ノモノ右方ニ避クベシ

第四條 屈曲セル場所若クハ霧中ニ於テハ瀛笛號鐘號角其他ヲ以テ信號ヲナシ且ツ一時間

六海里以上ノ速力ヲ以テ進航スベカラズ

第五條 同一ノ航路ニ進航スルトキハ直流ノ場所又ハ他船ヲ超過セントスル場合ヲ除クノ





(十七) 山林

森林監護假條例(明治十一年九月開拓使  
乙第二十三號布達)

第一條 官林ノ等級ヲ分ツ左ノ如シ

一等官林 良樹ノ森列シテ運輸ノ便ナルモノ

二等官林 良樹森列スト雖モ町歩狹少或ハ運輸不便ナルモノ

三等官林 薪炭山及其他ノ雜林

第二條 伐採ヲ禁シ三等林外ニ置クモノ左ノ如シ

但國土ノ利害ニ關スルモノハ三等ノ林内ニアルモノト雖モ伐採ヲ禁ズ

水源涵養、土砂止並額雪止、土地ノ風致ヲ裝飾スルモノ、風除、國郡町村ノ境界ヲ表スルモノ、川河ノ兩傍、魚附場、船舶ノ目標トナルモノ、道路並木ノ代用ヲナスモノ

第三條 私林 人民共有或ハ一人一已私有スルモノ

第四條 官林ハ許可ナクシテ斬伐スルヲ禁ズ

但傷害シテ生育ニ妨ゲナキモノハ直價ノ半額生育ヲ妨グルト認ムルモノハ直價ノ二倍半ヲ償ハシム

第五條 許可ナクシテ官林ニ家畜ヲ放牧シ蔬菜ノ種子ヲ蒔キ林草ヲ刈ル等ノコヲ禁ズ

第六條 山林ヲ暴伐シ或ハ許可ナクシテ開墾シ田圃庭園トナスヲ禁ズ

第七條 許可ナクシテ斧鋸等ヲ携帯シ官林ニ入ルモノハ山林官吏之ヲ糺シ辨解立タザルモノハ其器具ヲ收奪ス

第八條 木ヲ伐リ草ヲ蒔リ或ハ材木ヲ運送スルニ當リ稚樹ヲ傷害セザル様注意スベシ

第九條 桑樹ハ明治十一年八月甲第二十四號本廳管内達野桑保護假條則ニ憑準シ處分スベシ  
但各支廳管内ハ此限ニ非ズ

第十條 山野ニ放火スルハ勿論火ヲ弄フ等ノコトヲ禁ズ

第十一條 山野ニ火アルキハ山林官吏或ハ村吏其近里ノ人民ヲ召集シ消防ノ役ニ就カシム  
ベシ人民ハ速カニ召集ニ應シ其指揮ニ從フベシ

第十二條 山野ノ火ヲ消防スルニ當リ傷痕ヲ受ケ或ハ死ニ至ルモノアレハ明治八年四月公達

第五十四號ニ憑準シ手當ヲ給與スベシ

但私林ハ其所有主ヨリ相當ノ手當ヲ給與スベシ

第十三條 此條例ノ犯者ヲ認ルキハ其姓名住所ヲ取糺シ訴出ベシ其告發スルモノハ金貳拾錢ヨリ少ナカラズ五圓ヨリ多カラザル手當ヲ給與スベシ

官林木特賣規則(明治廿一年五月北海道廳令第三十一號)

第一條 官林木拂下ノ特許ハ左ノ場合ニ限ルモノトス

但官廳ノ都合ニ依リ特ニ之ヲ行フ場合ハ此限ニアラズ

一 拂受人自己ノ用途ニ消費スル時

一 炭燒營業用ニ供スル時

第二條 左ニ記載シタル者ハ拂下ヲ許サズ

一 官林產物ヲ拂受其代金怠納中ノ者及官林ニ關スル損害ノ賠償ヲ畢ヘサル者

一 官林ニ關スル輕罪ヲ犯シ裁判確定後滿一年ヲ經ザル者

第三條 林木ノ價格ハ豫テ當廳ニ於テ之ヲ定メ該定價表ハ當廳内務部地理課員派出所及郡

區役所戶長役場ニ備置クモノトス

第四條 林木拂下ノ特許ヲ得ントスル者ハ第一號書式ノ願書ニ通テ當廳内務部地理課員派

出所へ差出スベシ

林木拂下ト共ニ炭竈用敷地借受ヲ要スル者ハ第二號書式ニ準據スベシ

第五條 林木拂下ノ特許ヲ得タルキハ代金速ニ皆納シ入林鑑札ノ下付及現木ノ引渡ヲ受ク

一入林鑑札ハ伐木及運搬ニ従事スル者ノ員數ニ應シ拂受人又ハ拂受人總代ノ名義ヲ以テ下付スベシト雖官林ニ損害ヲ來スベシト認ムルトキハ特ニ人員ヲ制限スルコアルベシ第六條 林木ノ引渡ヲ受ケタルハ其木種員數等ノ引渡ヲ爲シタル官吏ノ手帳ニ照合シ毫モ相違ナキニ於テハ拂受人ハ之ニ署名捺印スベシ

但繪圖面ヲ要スル場合モ亦之ニ準ス

第七條 拂下ヲ許可シタル林木ハ樹幹ノ下部ニ極印ヲ押刻シテ之ヲ標証スベシ

薪炭用木及樹皮剝取ノ目的ニヨリ許可シタルモノハ區域ヲ限リ引渡スコアルベシ

第八條 薪炭用トシテ拂下ヲ許可シタル林木ノ員數多クシテ一區域内ニ於テ其數ニ充タザルハ數個所ニ於テ引渡スコアルベシ

第九條 林木引渡ニ際シ實地ノ景狀ニ據リ願書面ニ記載ノ小字箇所ハ同官林内ニ於テ便宜變換スルコアルベシ

第十條 林木引渡ノ後ハ該物件ニ異狀損害ヲ生ズルトモ當廳ハ其責ニ任ゼズ

第十一條 樹木ノ根株ハ拂下外ノモノトス故ニ特ニ許可ヲ得ルニ非ザレバ極印アル部分ヨリ以下ハ之ヲ殘存スベシ

第十二條 拂下ヲ受ケタル林木伐採濟ノ上ハ第三號<sup>甲</sup>書式ノ願書ヲ差出シ檢査ヲ受クベシ

第十三條 拂下ヲ受ケタル林木ハ特ニ搬出期限ヲ指定シタル場合ノ外ハ引渡濟ノ月ヨリ六ケ月間ニ於テ官林地ヨリ搬出スベシ

第十四條 前條ノ期限内ニ於テ搬出セザル物件ハ之ヲ官收スベシ

但天災ニ因リテ期限内ニ搬出シ得サルモノハ特ニ延期ヲ與フルコアルベシ

第十五條 林木拂下ノ許可ヲ得官林内ニ入モノハ拂受人及其雇人共必入林鑑札ヲ携帯スベシ

第十六條 入林鑑札毀損若クハ盜難又ハ遺失ニ係リタルハ更ニ其下渡ヲ請求<sup>(毀損ノ時ハ該鑑札ヲ添ヘ)</sup>スベシ

但盜難又ハ遺失ニ係ルハ速ニ所轄警察署ヘ届出ベシ

第十七條 林木拂下ノ許可ヲ受ケタリト雖其引渡ヲ受ケズシテ伐木ニ着手シ又ハ伐採濟檢査ヲ經ズシテ之ヲ官林地外ニ搬出スルコトヲ許サズ

第十八條 官林内ニ於テ特ニ許可ヲ得ルニ非レハ角取荒木取及船敷木ヲ製作スルノ外一切ノ諸細工ヲ禁ズ

第十九條 拂下ヲ受ケタル林木ヲ伐採及運搬スル爲メ官林ニ損害ヲ生シ又ハ損害ヲ生ゼントスル時又ハ拂受人及其雇人等該官林ニ關スル罪ヲ犯シ若クハ此規則ニ違ヒタル所爲ア

リタルキハ伐木及運搬ヲ停止シ又ハ禁止スルコアルベシ  
但損害豫防ノ爲メ伐木及運搬ヲ停止シタル場合ハ入林期限ニ更ニ相當ノ猶豫ヲ與フル  
コアルベシ

第二十條 前條伐木及運搬ヲ禁止シタル場合ニ於テ其禁止ニ係ル物件ハ當應ニ於テ相當ト  
思料スル代金ヲ返付スベシ

但情狀ニヨリ其物件ノ代價ヲ返付セサルコアルベシ

第二十一條 第十九條ノ場合ニ於テ拂受人損害ヲ被ルコアルモ當應ハ其責ニ任セス

第二十二條 入林中ハ火ノ元ヲ嚴重ニ取締ルベシ若シ拂受區域ヨリ失火シタルトキハ其損  
害ヲ辨償セシムルコアルベシ

第二十三條 本則第十一條第十七條第十八條ニ違背シタル者ハ違警罪ニ依リ罰セラルベシ

第一號書式

官林木拂下特許願

何國何郡何官林ノ内字何別紙圖面ノ箇所ニ於テ

一何木(枯損倒木等ハ樹名ノ上頭へ)何本 但目通直徑何寸以上  
該字ヲ冠記スベシ以下倣之何寸未滿

此代金何程 但一本ニ付金何程

(以下木種及目通直徑ノ異ル毎トニ別項ニ掲グベシ)

合 木數 何本  
代金 何程

右何用トシテ自用ニ供シ度候ニ付官林木特賣規則ヲ遵守シ保証人連署ヲ以テ御拂下奉願候  
尤御聞届相成代金上納仕候節ハ入林鑑札幾枚御下付相成度候也

何國何郡何町村何番地

(寄留人ハ原籍及寄留  
地共ニ肩書スベシ)

華士族平民

願 人 氏 名 印

年 月 日

同 同

保証人 氏 名 印

北海道廳内務部地理課

某派出所御中

第二號書式

官林木拂下特許及炭竈敷地拜借願

山 林

同上

一何木

何本

但目通直徑何寸以上

此代金何程

但一本ニ付金何程

合木數何程  
代金何程

一不毛地反別何程

炭竈用敷地

此借地料金何程

但一ヶ月金何程

此期限自何年何月  
至何年何月

右製炭用トシテ自用ニ供シ度候ニ付官林木特賣規則ヲ遵守シ保證人連署ヲ以テ御拂下且

炭竈敷地御貸下奉願候也

(以下第一號書式ト同文)

第三號書式甲(通常檢査願ノ式)

伐木御檢査願

何年何月何日第何號御指令ノ分

一何材

何程

此原木

何本

一何材

何程

此原木

何本

右悉皆伐採仕候條御檢査被成下度候也

(以下第一號書式ト同文)

第三號書式乙(炭用木檢査願ノ式)

伐採遺株御檢査願

何年何月何日第何號御指令ノ分

一何木

何本

右悉皆伐採仕候條遺株御檢査被成下度候也

(以下第一號書式ト同文)

統計之部

(一) 土地

本邦位置

極東 東經 百五十六度三十四分

土地

(千嶋國占守郡占守嶋東端)

土地

極西 東經 百三十二度四十五分

(琉球國與那國嶋西端)

極南 北緯 二十四度六分

(琉球國波照間嶋南端)

極北 北緯 五十度十六分

(千嶋國占守郡アライト嶋北端)

全國周圍及面積

周圍 七千〇二十九里

面積 二萬四千七百九十四方里

北海道位置

極東 東經 百五十六度三十四分

(千嶋國占守郡占守嶋)

極西 東經 百三十九度十三分

(渡嶋國松前郡大嶋)

極南 北緯 四十一度二十一分

(同國同郡小嶋)

極北 北緯 五十度五十六分

(千嶋國占守郡アライト嶋)

周圍面積

本地 周圍 六百五十里

面積 五千八百六十方里

千嶋<sup>三</sup>島<sup>十</sup> 周圍 未詳

面積 千三十三方里四分六里

禮文嶋 周圍 十六里

面積 八方里四分

利尻嶋 周圍 十五里十六丁

面積 七方里四分

與尻嶋 周圍 十五里二十三丁餘

面積 九方里

國郡區町村數

國 一 郡 八八

區 二二

町 三九二 村 五七二

官民有地反別 (二十二年)

官有地 二十六萬五千二百三十七町六反

民有々稅地 五千五百六十八町七反

民有免租地 一萬六千七百八十二町

民有除租地 一萬九千九百二十七町一反

三府近縣距離 (札幌南一條元標ヨリ)

東京 二三七、一四五〇

京都 三六八、〇三三

大阪 二八一、〇五〇

横濱 二四五、三三二

長崎 五八三、二二二

青森 四五、二三〇

秋田 一〇二、二〇三

岩手 九六、三〇三

宮城 一四四、二二九

新潟 一八二、二八二

郡役所々在地距離

小樽郡役所 九〇、八三〇

松前郡役所 六七、二〇三

壽都郡役所 三七、三二四

函館區役所 四五、二三〇

土地

室蘭郡役所	三四、〇五、〇〇	岩内郡役所	二六、二六、一八
釧路郡役所	一〇四、〇六、〇四	檜山郡役所	五七、二五、三三
根室郡役所	一四五、二九、一二	龜田郡役所	四一、一五、〇〇
増毛郡役所	二九、〇四、四六	浦河郡役所	四七、〇一、〇〇
紗那郡役所	一四五、二九、一二	網走郡役所	一五二、〇一、一五
外三海里	一五二、〇〇、〇〇		

郡區役所所在地及區域

位 置	區 域
札幌區役所	札幌區大通西三丁目
函館區役所	函館區元町
龜田郡役所	龜田郡七飯村
松前郡役所	松前郡福山川原町
檜山郡役所	檜山郡江差中歌町
壽都郡役所	壽都郡壽都渡島町
岩内郡役所	岩内郡岩内御銚内町
石狩國札幌區	渡島國函館區
	渡島國、龜田、上磯、茅部郡
	膽振國、山越郡
	渡嶋國、松前郡
	渡嶋國、檜山、爾志郡
	後志國、大樽、網走郡
	後志國、壽都、島牧郡
	後志國、磯谷、歌來郡
	後志國、古宇、岩内郡

小樽郡役所	小樽郡小樽疊徳町	後志國	小樽、高島、忍路、余市、郡
札幌郡役所	札幌區大通西三丁目	石狩國	札幌、石狩、厚田、釧路、空知、郡
増毛郡役所	増毛郡増毛永壽町	膽振國	千歳郡
宗谷郡役所	宗谷郡稚内村	天鹽國	増毛、留萌、苦前、郡
網走郡役所	網走郡網走村	北見國	天鹽、中川、上川、郡
室蘭郡役所	室蘭郡室蘭村	北見國	宗谷、枝幸、郡
浦河郡役所	浦河郡浦河村	北見國	利尻、禮文、郡
釧路郡役所	釧路郡釧路真砂町	北見國	網走、斜里、郡
根室郡役所	根室郡根室常盤町	膽振國	常呂、紋別、郡
紗那郡役所	紗那郡紗那村	膽振國	室蘭、有珠、此田、郡
		日高國	浦河、沙流、新冠、靜内、郡
		十勝國	三石、様似、幌泉、郡
		釧路國	釧路、十勝、中川、郡
		根室國	釧路、阿寒、川上、郡
		千島國	標津、阿寒、野付、郡
		千島國	根室、花咲、野付、郡
		千島國	標津、色丹、得撫、郡
		千島國	新島、占守、得撫、郡
		千島國	紗那、振別、郡

山名	所屬地名	海面上高サ	山名	所屬地名	海面上高サ
夕張岳	石狩國空知夕張二郡	七千三百尺	ペンケピラ山	天鹽國天鹽郡	七千二百尺
チプタシケ岳	十勝石狩二國	七千二百尺	十勝岳	十勝國上川郡	七千尺
土地	著名山河				二百五十九



土地

後方羊蹄岳	膽振國虻田郡	六千七百尺	河名	水源地名	長サ
サツナイ山	十勝國	六千七百尺	十勝川	十勝國上川郡十勝嶽	五十三里十五町
音更山	十勝國河西郡	六千六百尺	沙流川	日高國沙流郡沙流山	三十四里卅三町
パンケピラ山	天鹽國天鹽郡	六千四百八十尺	尻別川	膽振國後方羊蹄岳	三十四里
トツタベツ山	十勝國	六千四百尺	釧路川	釧路國釧路郡	三十三里五町
ボロシリ山	天鹽國天鹽郡	六千二百二十尺	標津川	根室國標津郡	凡三十里
ヒバイロ山	十勝國河西郡	六千二百尺	常呂川	北見國標津郡	二十九里七町
ホロカメトク山	石狩國及十勝國	五千八百尺	西別川	釧路國川上郡虻田村	二十八里十三町
シヨカンベツ山	天鹽國増毛郡	五千八百尺	利別川	後志膽振國境黒松内嶽	二十八里
芽室嶽	日高十勝兩國	五千七百尺	浦幌川	十勝國浦幌山	二十七里卅七町
ベペツ山	石狩國七川郡	五千七百尺	阿寒川	釧路國阿寒湖	二十五里卅三町
カムイヌプリ	十勝國河西郡	五千四百尺	音更川	十勝國音更嶽	二十五里十六町
ラウシ山	根室國目梨郡	五千四百尺	頓別川	北見國頓別山	二十五里十二町
斜里嶽	北見國斜里郡	五千四百尺	網走川	北見國キシルチン山	二十四里十八町
河名	水源地名	長サ	美枝川	石狩國シユマヌプリ	二十里三十四町
石狩川	石狩國上川郡石狩嶽	凡九十五里	留萌川	天鹽國ハボロベツ山	凡二十里
天鹽川	天鹽國上川郡天鹽嶽	七十四里	湯別ノ湯	同國標津郡標津村	十八里十町
定山溪ノ湯	石狩國札幌郡平岸村	華氏百九十度	五厘澤ノ湯	同國標津郡湯別村	同 八十八度
雷電湯有内ノ湯	後志國岩内郡敷島内村	同 百十三度		渡島國檜山郡柳崎村	同 百五度

著名鑛泉

名稱	所屬地名	溫度	名稱	所屬地名	溫度
谷地頭ノ湯	同國函館區谷地頭町	同 八十九度	小舟下ノ湯	同國同郡白尻村	同 百七十六度
下湯ノ川ノ湯	同國函館郡下湯川村	同 九十五度	カメトマリノ湯	同國同郡鹿部村	同 百三十七度
瀧ノ澤ノ湯	同上	同 百十三度	登別ノ湯	膽振國幌別郡登別村	同 二百十度
トメノ湯	同國同郡軍川村	同 百二十度	弟子屈ノ湯	釧路國川上郡弟子屈村	同 百八十三度
湯本ノ湯	渡島國上磯郡知内村	同 百二十五度	當別ノ湯	同上	同 百十度
河汲ノ湯	同國茅部郡尾札部村	同 百十八度	竹瀧ノ湯	根室國標津郡標津村	?

著名港灣

名稱	所屬地名	方位	名稱	所屬地名	方位
函館港	渡島國函館區	南西	室蘭港	膽振國室蘭郡室蘭	西
小樽港	後志國小樽郡小樽	南	増毛港	天鹽國増毛郡増毛	北
江差港	渡島國檜山郡江差	左右	釧路港	釧路國釧路郡釧路	西
根室港	根室國根室郡根室	北	厚岸港	同國厚岸郡厚岸	南
福山港	渡島國松前郡福山	南	濱中濱	同國同郡濱中	東
森都港	後志國森都郡森都	北	斜古丹灣	千島國色丹郡斜古丹	北
石狩	殖民撰定地國別坪數	坪	膽振	二九、四六九、五〇〇	坪
後志	五七八、七六八、八五五		天鹽	二一七、三〇九、七七五	
十勝	二〇、〇六五、三五三		釧路	四七四、二九九、〇〇二	
根室	八九二、八七一、八一七		北見	二七九、〇六七、一九七	
土地	三八〇、二七四、九二三			二百六十一	

總計 二、八七二、二二六、四二二

同耕牧地等差表

直ニ開墾シ得ベキ地 九八六、七五七、五九七坪 排水後耕牧ニ適スル地 二七六、一四二、二七四坪  
 牧畜適地 一、一七三、〇六五、四五二 大改良ヲ要スル地 四三〇、六四三、三三九  
 土地貸下拂下反別

貸下地

拂下地

明治二十二年 一七七、五一四、四四二坪 二、一七七、七三一坪  
 同二十一年 五三、五二〇、四八四 四六三、六九三  
 同二十年 五三、四八四、一八〇 一五、四四九  
 同十九年 一一、九〇〇、五二八

(二) 氣象

各國都府ニ對スル温度比較表 (華氏)

函館	最高 七二、六	最低 二六、五	ローマ	最高 七六、〇	最低 四五、〇
----	---------	---------	-----	---------	---------

シカゴ	六六、八	二四、八	札幌	七〇、六	二二、五
パリ	六五、七	三五、四	阿姆斯特ダム	六五、三	二三、二
ロンドン	六四、一	三七、三	ベルリン	六五、八	二七、七
モスクオー	六六、四	一三、六	コーペンハーゲン	六四、三	二九、三
ストツクホルム	六三、五	二四、三	セントペーターズボルグ	六三、九	一四、七

二十三年氣候一斑

函館	最高 八月九日 八十三度三分	最低 一月二十日 一度	快晴 二十五日	晴天 百七十八日	雨 百八十四日	雪 七十五日
札幌	最高 八月五日 九十一度八分	最低 一月廿七日 零度一分	同 三十日	同 百八十四日	同 百七十一日	同 八十六日
根室	最高 八月十七日 八十二度六分	最低 一月廿一日 一度九分	同 十五日	同 百八十六日	同 百五十五日	同 七十六日

霜雪ノ初終

函館	初霜 十月二十日	終霜 五月十六日	初雪 十一月廿五日	終雪 四月廿五日
札幌	同 十月九日	同 五月二十日	同 十一月二十日	同 四月廿六日
根室	同 十一月十六日	同 五月廿五日	同 十一月十八日	同 日

(三) 屯田

屯田兵配置及戸數人員 (○印ハ扶助ヲ  
離レタルモノ)

步兵第一大隊		第一中隊	。 琴似村	二四〇	一、四四九
		第二中隊	。 山鼻村	二四〇	一、二九七
		第三中隊	。 新琴似村	二二〇	一、〇八七
		第四中隊	。 篠路村	二二〇	一、一八八
		第五中隊	。 室蘭村	一一〇	九九九
計				一、一四〇	六、〇二〇
步兵第二大隊		第一中隊	。 江別村	二二〇	一、二四七
		第二中隊	。 江別村	二二五	一、一六四
		第三中隊	。 瀧川村	二二〇	九二三
		第四中隊	同	二二〇	九二一
計				八八五	四、二五五
步兵第三大隊		第一中隊	永山村	二〇〇	八八四
		第二中隊	同	二〇〇	八七六
計				四〇〇	一、七六〇

步兵第四大隊		第一中隊	和田村	二二〇	一、〇八六
		第二中隊	同	二二〇	一、三一五
		第三中隊	大田村	二二〇	一、一六五
		第四中隊	同	一一〇	九九四
計				六八二	四、三八〇
騎兵隊			沼貝村	四〇	一八九
砲兵隊			同	三〇	一三五
工兵隊			同	三〇	一四二
總計				三、二〇七	一六、八八一

屯田兵經費

廿三年度	五二三、二四六、〇四〇	廿二年度	四一六、六二八、八五六
廿一年度	三三〇、九八三、八三〇	二十年度	二八四、一三三、九八七
十九年度	二八四、二七七、八三一	十八年度	二一八、五一三、二三三
十七年度	一七五、七〇一、九二四	十六年度	一一〇、五三五、九三五
十五年度	五〇、四四五、三三〇	十四年度	七九、二四八、六八一
屯田			二百六十五

屯田兵開墾地反別及收穫高

廿三年	反別	四、二二八、八
廿二年	同	三、一一五、五
廿一年	同	二、七三二、三
二十年	同	二、二五四、九
十九年	同	一、四八九、六

二四一、七〇二

一一五、八五七

七三、一三六

六二、八五七

五〇、一五六

(四) 財政

開拓使以來經費

費目

經費金

應費	二二、七六五、四三二、五二〇
煤田起業費	一、一五六、二四九、八五七
地方税支出高	三〇一、〇八七、五九七
出港税支出高	一、三五一、一七〇、七七四
營業費	一、五九二、三一八、九五二
合計	二七、一六六、二四九、七〇〇

自明治二年九月  
至同十五年十一月

開拓使

自明治十五年三月  
至同十九年二月

三縣分治

函館縣廳費	一一、三四五、四三四、六四六
札幌縣廳費	三、三五六、四四五、七六九
根室縣廳費	一、七〇〇、四七〇、七〇六
計	三、三七三、四五〇、四七五
農商務省北海 道事業管理局	一、六二八、七〇六、八七六
計	二、三三四、一二四、八四九
營業費	一、八五九、二七五、九六八
內務省集治監	四、一七三、四〇〇、八一七
陸軍省屯田兵費	一、四二四、〇一三、三〇九
合計	五一一、二〇一、三一〇
本廳	一三、四五六、二〇七、四三三
函館支廳	一〇、八二一、七五〇、五九二
根室支廳	四九八、三三八、〇〇〇
集治監費	二八六、三〇六、八二一
屯田兵本部費	二、二四八、五三二、一七一
炭礦鐵道事務所費	七八九、〇〇八、二〇七
札幌農學校費	二〇、〇二七、六六九
合計	一三六、四九九、三〇四

財政

二百六十八

應

紋別製糖所費	八〇、五四九、八〇五
營業費	四九八、三三五、四四二
十津川鄉民費	一一、三一九、三一四
合計	一五、三九〇、六六七、三二五
總計	六六、〇一三、一二四、四五八

廿一年度以降ハ未ダ決算額ヲ明ニセザルニヨリ豫算額ヲ以テ計算セリ

廿四年度議定額及廿五年度要求額

經常部歳出	廿四年度議定額	廿五年度要求額	前年度比較増減
北海道本廳	二、〇九三、五二〇、八一	一、〇八三、〇五八、六一	減 九四七、三〇〇
札幌農學校	三八五、九九九、九七	三六〇、〇七三、〇五	減 二五八、一六九
北海道集治監	五七七、七二、七	五八八、八九八、〇〇	増 一、〇二〇、七六九
小計	二、六八八、九三三、三九	一、六七七、八五九、六六	増 一、〇一七、〇七三
臨時部歳出			

補助費	廿四年度議定額	廿五年度要求額	前年度比較増減
營繕費	八〇三、九一〇	八四九、八三四	増 四五、一三四
北海道物産共進會費	二、四三三、三〇〇	七、五三三、〇〇〇	増 五、一〇九、七〇〇
北海道土地調査費		一三、九一〇、〇〇〇	増 一三、九一〇、〇〇〇
千島探檢費		二四、四三三、三六〇	増 二四、四三三、三六〇
十津川鄉民移住費	三、五三三、三〇〇	三、五三三、〇〇〇	減 三〇〇
小計	三、三三三、〇〇〇	一四、三〇三、三六〇	増 一〇、九七〇、三六〇
總計	一、九八二、三三三、九一九	二、一五三、三三九、二七	増 一七〇、〇〇五、三三八

國稅額

二十二年度總計	二十三年度總計	國稅額
地租	三〇、四二八、七〇六	國立銀行稅
北海道水產稅	二二五、一〇一、二二四	酒造稅
醬麴營業稅	七二、〇〇〇	煙草稅
證券印稅	一一、二二二、九五四	船稅
車稅	一、二三二、五〇〇	銃獵免許稅
財政		二百六十九

牛馬賣買免許稅	二九五、一〇〇	賣藥稅	一、三七五、四四六
度量衡稅	二五、七二五	所得稅	二、七一八、七三五
二十一年度	三五〇、〇〇三、一七二	二十年度	三三三、三四六、一六九
十九年度	七〇一、九四〇、六八六		

地方稅收入額(二十二年豫算)

二十二年總計	五二九、八〇一、一三六	戶數割	三三三、二六五、〇〇〇
地租割	七、一七〇、〇〇〇	雜種稅	九、九〇二、〇〇〇
營業稅	六、九一五、〇〇〇	地方費補給	四四五、九二八、一三六
地方雜收入	二六、六二一、〇〇〇	二十一年度	六六八、三八七、六一一
二十一年度	六四二、四四〇、五四六	十八年度	七二三、四一〇、五四九
十九年度	七四七、六六四、〇七一		
二十二年總計	五二九、八〇一、一三六	營繕費	九、一〇〇、〇〇〇
土木費	五三、二六五、一六五	衛生及病院費	五七、四六一、〇〇〇
郡區及警察諸費	二九三、八三四、六一一		

地方稅支出額

教育費	二六、三〇七、〇〇〇	教育費	一、八五〇、〇〇〇
浦役場及難破船諸費	一五〇、〇〇〇	諸達書及揭示板費	二、八一、三九〇
勸業費	六、八五四、六二〇	驛遞諸費	五、三五一、三五〇
消防費	一、五〇五、〇〇〇	經費金取扱手数料	四、九〇六、〇〇〇
獄署諸費	三七、七〇一、〇〇〇	未決囚諸費	三、六一三、〇〇〇
已決囚諸費	一九、四七五、〇〇〇	非職俸給	五、六一六、〇〇〇
二十一年度	六四二、四四〇、五四六	二十年度	六六八、三八七、六一一
十九年度	七四五、八三四、三八二	十八年度	七二三、四一〇、五四九

(五) 教育

札幌農學校教員數

二十三年	內國人	一九	外國人	二	計	二一
二十二年	同	一八	同	二	同	二〇
二十一年	同	一五	同	三	同	一八
二十年	同	一五	同	二	同	一七

教育

十九年	同	八	同	三	同	一
二十三年	同	八	同	三	同	一

同生徒數		別兵學科		豫科		傳農習科		計	
二十三年	五五	一	一六三	一四二	四九	二六七			
二十二年	四四	二四	一四二	四六	二五六				
二十一年	四〇	一	九二	七一	二〇三				
二十年	四八	一	七八	五〇	一七六				
十九年	四三	一	五五	一	九八				

學齡人員		總數		就學		不就學	
二十三年	三四、一四六	二九、三八七	二〇、六〇三	八、三四三	一三、五四三	二一、〇四四	一一、九七二
二十二年	三一、三四三	二六、六六六	一七、五五五	七、五〇九	一九、一五一	一二、二八〇	一九、〇六三
二十一年	二九、八三五	二五、四二一	六、三五八	一			

二十年		十九年	
男	二八、三五七	男	二四、〇一九
女	二四、〇一九	女	二五、〇一九
總計	五二、四五六	總計	四九、一三五

小學校數

公立		私立		總計	
二十三年	二七六	二二九	二〇	二九六	三〇九
二十二年	二六四	二五四	一	二六五	二九二
二十一年	二五二	二二二	一	二二二	二七六
二十年	二六	二六	一	五三	二六三
十九年	一	一	一	三	二七一

教育

小學校教授者

學校長

教員

授業生

計

公

立  
二十二年  
二十一年

一〇

三一六

八一

四〇七

私

立  
二十二年  
二十一年

三

二九〇

六六

三五六

小學校生徒

男

女

計

公

立  
二十二年  
二十一年

一五、四四七  
一三、七四一

五、六〇一  
四、五〇九

二一、〇四八  
一八、二〇〇

私

立  
二十二年  
二十一年

二、五六八  
一、二二四

二、二四二  
一、〇一八

四、八一〇  
二、二四二

師範學校及函館商業學校

教員

生徒

商業學校

教員

生徒

師範學校

二十二年  
二十一年

一一

五一

二十二年  
二十一年

六八

九七

各種學校

校數 教員 生徒

公

立  
二十三年  
二十二年  
二十一年

三三  
三三  
一三

二四  
二五  
二二

私

立  
二十三年  
二十二年  
二十一年

三三  
三三  
一七

三三  
三三  
三三

(六) 衛生

病院

總數

應立

町村立

私立

町村醫

二十三年

一〇七

四

五二

二二

三九

二十二年

八八

七

五六

一〇

一五

二十一年

八〇

七

五六

九

八

二十年

七一

二

五二

七

一

醫師

總數

卒業及  
試驗

履歷及  
限地

從來開業

二十三年

三三四

九二

九一

一九一

衛生

二百七十五

二百七十四



衛生

二十一年	三三七	七二	八九	一七六
二十年	三六八	七三	九一	二〇四

產婆

二十二年	總數 一四四	本免狀 九	假免狀 一一八	限地免狀 一七
二十一年	二二七	七	一八八	二二
二十年	二二九	三	二二六	一九

藥舖

二十二年	總數 四一	內務省許 二	地方免許 七	藥種商 三二
二十一年	三七	二	七	二八
二十年	三四	一	六	二七

(七) 人口

明治二十三年	現住 四二七、〇七八	本籍 二九三、三七一	寄留 一五七、〇四〇
同二十二年	三七〇、五七六	二六九、九三四	一〇八、七三四
同二十一年	三四二、二三一	二五四、五二四	九五、一七一
同二十年	三三一、一一八	二三九、六一二	八七、八六一
同十九年	三〇三、七四六	二二五、九五八	八四、七八七

二十三年國別現住戶口表

石狩	戶數 一六、八二八	人員 七〇、七〇九
後志	一八、八八二	九九、二九二
渡嶋	三一、〇六七	一六三、七三一
膽振	三、八六七	二〇、〇一一
日高	二、九七一	一三、五八三
十勝	六三〇	三、〇〇〇
釧路	三、一三二	一五、〇一一

社 寺

根室	四、一二〇	一六、一二五
千嶋	五一八	二、八三六
北見	一、九四〇	一一、五八六
天鹽	二、四四八	一一、一九四
合計	八六、四〇三	四二七、〇七八

二百七十八

舊土人戸口

明治二十二年	戸數	人口
同二十一年	三、九〇〇	一六、七三五
同二十年	三、八七八	一七、〇六二
同十九年	三、八二八	一六、九六二
	三、七三二	一七、四六〇

(八) 社 寺

神社及神官 (二十二年)	總數	官幣社	國幣社	縣社	鄉社	村社	無格社
神社	四四八	一	一	一	四三	二二三	二一九

神官	五二	三	三	一	二八	九	八
----	----	---	---	---	----	---	---

寺院及住職 (二十二年)

總數	天臺	眞言	淨土	臨濟	曹洞	黃檗	眞宗	日蓮
寺院	二一〇	三	六	五四	二	六一	一	五八
住職	一八四	一	四	四四	二	六一	一	四九
								二五
								二二

(九) 農 業

耕地反別

二十三年	田	二、二三九、九	反	畝	四二、八九五、〇	反
二十二年	同	二、一八三、一		同	三九、二七〇、一	
二十一年	同	二、一九四、九		同	三三、四二三、二	
二十年	同	二、〇七四、六		同	二九、二七六、八	
十九年	同	一、六九八、一		同	二八、三〇九、五	

國別既墾地反別 (二十三年)

農 業

二百七十九

石狩田	二七、三	畝	一〇、七九七、三	計	一〇、九四四、四	釧路田	一	畝	六九、七	計	六九、七
後志田	〇、二	同	六、八四一	同	六、八四一	根室田	一	同	一、〇〇九	同	一、〇〇九
渡鵬	同	同	一四、六九八	同	一六、六七一	千島	一	同	四〇、六	同	四〇、六
膽振	同	同	五、九八一	同	五、九三三	北見	一	同	五、四	同	五、四
日高	同	同	三、四三三	同	三、四九六	天鹽	一	同	一、三〇〇	同	一、三〇〇
十勝	同	同	三、七五	同	三、七五	合計	同	同	同	同	同
		合計	同	同	同	合計	同	同	同	同	同

農産物價格

二十二年 六拾七萬七千〇六圓  
 二十一年 八拾萬九千九百〇八圓  
 二十二年 八拾貳萬七千〇貳拾五圓  
 二十一年 八拾五萬貳千四百六拾六圓

重要農産物收穫高 (二十二年)

米 九千二百八十石  
 大麥 一萬三千四百三十六石  
 小麥 六千五百〇三石  
 裸麥 五千七百二十七石  
 粟 一萬千八百十九石  
 蕎麥 一萬四千七百五十三石  
 玉蜀黍 一萬四千四百〇七石  
 甜菜 百六十三萬貫  
 麻 十萬三千五百二十七貫  
 藍 二十一萬六千二百六十七貫

大豆 二萬六千五百五十九石  
 小豆 二萬八百七十四石

牛馬數

牛數

二十三年 三、二九八  
 二十二年 二、六二七  
 二十一年 一、七五七  
 二十年 一、四二四  
 十九年 一、一三三

馬數

五〇、九六七  
 四八、四九八  
 四五、七〇五  
 四五、三四〇  
 四三、一〇七

馬鈴薯 六百十二萬六千六百十三貫

著名牧場

真駒內種畜場 札幌郡平岸村  
 七重農業場 龜田郡七飯村  
 桔梗野牧場 同 郡桔梗村  
 黃金藥牧場 有珠郡黃金藥村  
 野深牧場 浦河郡野深村  
 釧路共立牧畜場 白糠郡庶路村

永年牧馬場 室蘭郡札幌通  
 登別牧馬場 幌別郡登別村  
 平取牧牛場 沙流郡平取村  
 波惠牧馬場 同 郡波惠村  
 鹿島牧畜場 根室郡根室村  
 佐妻牧場 靜內郡佐妻村

(十) 漁業

國別水產物收穫價格 (二十三年)

石狩	四九九、五四三	後志	二、五三四、一八五
渡島	九七五、二三四	膽振	六二、五六四
日高	一四〇、一一九	十勝	七五、七五六
釧路	三一六、五九九	根室	六七七、〇二三
千島	五二六、三五八	北見	九〇二、九四三
天鹽	一、二五八、五五五	合計	七、九六四、六六九
水產物產出高			
鯨	五、七七二、三八五	二十三年	七、九六四、六六九
鮭	六九四、三五八	二十二年	六、七九五、八五二
鱈	八四、四七一	二十一年	五、九五八、四四七
鰻	二二九、八八八	二十年	五、二六五、九八〇
昆布	五五三、九三〇	十九年	四、五三六、五七八
其他	六三〇、六三七		

水產物輸出代價

內國輸出

海外輸出

二十二年	七、三七二、六一七	五三〇、五〇九
二十一年	四、九四六、一三九	四一八、二五六
二十年	三、二七九、二七一	五三二、一二二
十九年	二、九九四、〇四九	五九五、九一九
十八年	二、九三一、九一二	五八四、八五〇

水產稅額

二十二年度	二二五、一〇一、二三四	二十一年度	二一八、七七五、六七四
二十年度	二二〇、二二二、五五二	十九年度	六一一、四〇〇、〇九七

(十一) 商業

都邑物價 (明治二十三年十二月三十一日調査)

米	一石	七圓三拾八錢	六圓貳拾錢	六圓貳拾錢	七圓三拾錢
商	札	幌	小樽	函館	根室
					二百八十三

商業

大麥	同	三圓八拾五錢	三圓	四圓四拾五錢	二百八十四
小麥	同	四圓三拾錢	四圓八拾錢	五圓	四圓貳拾三錢
食鹽	同	壹圓三拾五錢	壹圓拾錢	貳圓拾錢	壹圓三拾五錢
味噌	一貫目	拾八錢	拾七錢	拾六錢	拾七錢三厘
醬油	一升	拾錢	九錢	貳拾貳錢	拾五錢
清酒(大山)	同	拾八錢	拾四錢	拾八錢	拾九錢
茶	一斤	三拾錢	四拾錢	三拾五錢	三拾五錢
白砂糖	同	拾壹錢	拾錢	八錢七厘	拾貳錢
鯉節	一貫目	壹圓八拾五錢	壹圓七拾錢	壹圓六拾錢	壹圓九拾貳錢
木綿	一反	四拾錢	貳拾四錢	四拾五錢	五拾三錢
石油	一函	貳圓	壹圓九拾八錢	壹圓九拾錢	貳圓貳拾五錢
薪	十貫目	三錢貳厘	拾貳錢	拾七錢	七錢五厘
炭	同	拾八錢	三拾五錢	三拾五錢	三拾貳錢

札幌區ノ米價高キハ輸入不足ノ爲メナレハ平常ハ六圓三四拾錢ナリ  
又本表ハ卸相場ニ付小賣相場ハ是ヨリ二三割方高價ナリト知ル可シ

內國輸出入物價

二十三年	輸出	一三、二五一、九四七	輸入	一六、二六五、八八二
二十二年	同	八、〇八四、四八七	同	八、五一七、一三四
二十一年	同	七、七九七、四九三	同	七、七七一、七四八
二十年	同	五、六七三、〇五四	同	六、五一二、九八九
十九年	同	五、〇〇三、五六一	同	五、六〇九、六四五

函館港海外輸出入物價

二十三年	輸出	八二三、五二四	輸入	六七七、九三四
二十二年	同	七八一、四四六	同	一一七、七〇六
二十一年	同	五三六、〇五四	同	三、九四四
二十年	同	七三五、四七七	同	一一、四二二
十九年	同	六七三、五四八	同	一六、一八五

管外輸出品表 (明治二十三年)

總計 金千三百貳拾五萬千九百四拾七圓



金物類	六〇九、九八四	船具類	二六、四〇〇	鯉節	七、四二六
銅鐵類	三六三、四〇六	漁網及網系類	一六八、〇五二	其他海產類	一六、六四八
藥種	四八七、〇五八	牛頭	三三六、〇五三	雜貨	七、三〇三
繩丸	一六、二二五	馬	一、四八二		七、四三
繩丸	三八六、五三七	雞卵	一、一七八		一九、七一四
繩丸	六七、四四一		一〇二、〇九四		一、二六二、八六五
繩丸	四六八、四〇六		一〇二、〇九四		一、六六九、八八七
繩丸	一七四、八二〇				

管外輸出入原價港灣別 (圓)

港灣	輸出原價	輸入原價	港灣	輸出原價	輸入原價
小樽	一、二八六、八二五	四、二八四、三八二	古平	一〇〇、五四四	九一、三〇六
森都	一九四、三〇一	二四八、九七四	美國	一六六、八七九	二一九、〇五四
江差	九八二、七六二	八四一、二七三	檳丹	一一六、二五七	二八、三七五
福山	三九、六一一	一三〇、四三二	泊(古宇郡)	一一八、二〇九	五一、二六〇
函館	六、〇三五、六〇二	八、四八九、二八二	折石	七七、九六九	二七、四九八
根室	三二四、五九六	三〇四、一一〇	岩内	二六七、〇四〇	一四〇、七七四
厚田	一八五、一六二	二二、六七五	磯谷	一一三、七四七	三一、九五六
濱益	一七九、五六〇	二八、四七二	歌樂	一六九、九七二	一〇八、四〇五
忍路	二七〇、五六五	四五、九六一	島收	一七七、〇三二	六六、六四四
余市		三〇〇、六一七	日方泊	四〇、一三〇	二五、七四八

熊石	一一〇、一九四	利尻	三六二、一五〇
吉岡	三五、〇二四	苗前	二二九、八八一
福島	一六、〇三〇	鬼鹿	二八六、一四八
昆布森	三二、五一五	留萌	一八七、二七九
花咲	一六、八三八	增毛	二二二、四六五
稚内	四八、五六一	其他	五五五、三〇二
禮文	二七二、七九七	總計	一三、二五一、九四七

(十二)交通

道路延長數	里	丁	間
二十二年	四五二、二四	二二	三八八、二一、一
二十年	三〇九、〇五	〇六	二九四、二七、三九
十八年	二四三、一三	〇〇	二一四、一一、二八
十六年	二〇八、一三	五四	二〇三、一三、四四
十四年	一九九、〇四	二六	一八九、一九、一六

陸路里程

二百八十九

交通

自札幌至函館

札幌	豐平	月寒	鳴松	漁	長都	千歲	植苗	苦小牧	小糸魚	錦多登	覺生	樽前	社臺	白老
里	二五、〇〇、〇	一、〇二、〇〇、〇	五、二七、四五、〇	六、三五、四五、〇	七、二五、四五、〇	九、二五、四五、〇	一、一三、四五、〇	一六、二三、四五、〇	一七、三五、四五、〇	一八、二三、四五、〇	一九、一二、四五、〇	二〇、〇四、四五、〇	二〇、二〇、三六、〇	二二、〇九、三六、〇

二百九十

敷生	登別	幌別	鷺別	室蘭	森	宿野	昨下	藤城	七飯	大中山	桔梗	龜田	函館	
里	二四、〇一、三六、〇	二七、〇四、〇〇、〇	二九、〇四、〇〇、〇	三一、〇四、〇〇、〇	三三、二〇、三五、〇	三三、二〇、三五、〇	三六、二二、三五、〇	三九、二〇、三五、〇	四〇、二〇、三五、〇	四〇、三〇、三五、〇	四一、三〇、三五、〇	四二、二四、三五、〇	四四、〇二、三五、〇	四五、〇二、三五、〇

自苦小牧至根室

苦小牧	勇拂	鷓川	佐瑠太	下下方	浦河	幌泉	猿留	當緣	大津	十勝	白糠	釧路	昆布	厚岸
里	三、〇〇、〇〇、〇	七、一八、〇〇、〇	一〇、三〇、一六、〇	一九、二六、二六、五	三〇、一六、四五、五	四〇、三二、二五、一	四九、〇一、〇五、五	六二、一一、五九、五	六八、一八、五九、五	七〇、〇〇、一七、五	八〇、二八、五六、五	八八、〇六、四六、五	九二、〇七、二六、五	一〇四、〇二、一〇、五

濱中村

根室

濱中	圓山	琴似	發寒	上手	下手	錢函	張碓	朝里	熊碓	小樽	札幌	苗穂				
里	一一三、三一、五八、五	一二九、一三、三六、五	里	三〇、〇〇、〇	一、一八、〇〇、〇	二、〇〇、〇〇、〇	二、一八、〇〇、〇	四、一五、〇〇、〇	五、一〇、三〇、〇	六、二九、三〇、〇	七、二九、三〇、〇	八、〇八、三〇、〇	九、〇八、三〇、〇	里	一、〇〇、〇〇、〇	二百九十一



交通

雁來村	一、一二、〇〇、〇	厚田村	一二、一七、四六、〇
對雁村	四、一六、五三、〇	茂生村(濱益)	一九、一七、四六、〇
江別村	五、一九、〇七、五	益毛	二九、〇四、四六、〇
幌向村	七、三三、五一、四	留萌村	三三、〇七、五六、〇
岩見澤村	一〇、一九、四七、三	苦前村	四四、〇九、四六、〇
砂川	二〇、〇九、〇二、三	風蓮	五二、〇九、四六、〇
瀧川村(空知太)	二二、三一、一四、三	天鹽村	六〇、一二、四六、〇
神居古丹	三二、三一、一四、三	稚咲内	六六、二〇、四六、〇
神居村(忠別太)	三四、一三、四二、三	宗谷村	八一、一四、二六、〇
旭川村	三五、一三、四二、三	枝幸村	一〇七、〇四、二六、〇
永山村	三六、一三、四二、三	紋別村	一三〇、〇六、五八、〇
越路	四四、一七、四二、三	網走	一五三、〇一、一五、〇
札幌ヨリ西海岸通根室ニ至ル		斜里	一六二、一四、四九、〇
札幌ヨリ	里	標津	一七七、二二、〇三、〇
篠路	三、一〇、一一、〇	別海	一八五、二二、五〇、〇
石狩	六、三三、四六、〇	根室	一九二、二七、五〇、〇

二百九十二

諸港灣里程(海里)

西海岸諸港灣

函館	七九室蘭	函館	四三	八三	一五八	一七〇	三三	三三〇
二二	幌泉	福山	四〇	一七	二八	一七八		二八七
二〇〇	釧路	江差	八四	九六	一四九			三五六
二二五	四〇厚岸	寺部	二〇	七九				一八七
三三三	濱中	岩内	七〇					一七九
三九五	花咲	小樽	四八	二九				一四九
二八七	三根室	増毛	三五	八三				一五三
		増毛	四七	五四				一六八
		鬼脇	八	一八				一七九
		霧泊	一一五	一八				一八七
		香深	△三三	九二				一九二
		宗谷	△六六	九二				一九三
		推内	△六六	九二				一九三
		枝幸						一九三

二百九十三

山林  
炭礦鐵道哩數

停車場名 手宮ヨリ	住吉	二、〇七〇、二、〇	岩見澤	四八、〇〇一四、〇
	朝里	五、三七三六、六	幌内太	五四、二七〇八、〇
	錢函	一、〇二二四、〇	幌内太ヨリ	五六、四四五四、〇
	輕川	一五、四四〇四、〇	幾春別	四、二五一〇、〇
	琴似	二〇、〇三八四、〇	峯延	五、〇九三九、三
	札幌	二二、二六一四、〇	美唄	一〇、一三三九、三
	野幌	三四、二六一四、〇	奈井江	一六、五一五九、三
	江別	三五、三六八四、〇	砂川	二二、〇四八九、三
	幌向	四〇、四六六六、〇	歌志内	三〇、四七五一、八

(十三)山林

御料林官林民林  
御料林 二百萬町步  
官林 四百萬町步  
民林 二萬町步  
合計 六百二萬町步

(十四)鑛山  
著名鑛山

鑛種	鑛山名	所在地	鑛種	鑛山名	所在地
石	幌内	石狩國空知郡幌内村	硫	跡佐登	釧路國川上郡屈斜路村
炭	郁春別	同 國同 郡郁春別村		惠山	渡島國龜田郡尻岸内村
	茅沼	後志國岩内郡茅沼村		岩雄登	膽振國虻田郡
	春鳥	釧路國釧路郡釧路村		羅白山	千島國國後郡東沸村
銅	茂岩	後志國古宇郡興志内村	黃	島登	同上
砂金	利別	後志國釧路郡利別		一菱内	同上

礦物產出高 (明治廿三年)

鑛名	堀採高	賣却高	賣却代價
硫黃	一〇六、七五二、三七三	九八、三二二、二五八	二〇三、二六、九三五
石油	五四、八七八		

二百九十五

石	炭	礦山
一八六、一〇六、三五〇	一七〇、八五三、四二〇	一九七、三七〇、六〇五
七、七〇七、八四〇	七、七〇七、八四〇	八、〇九八、四五三
〇、九八〇	〇、六一四	一、三二〇、九六〇
小計	計	四一〇、〇一六、九五三

二百九十六

北海道官民便覽

明治二十五年四月廿二日印刷  
同 年四月廿三日出版

(定價金四拾錢)

三重縣土族

著作者 近藤與四郎

北海道札幌區南四條西七丁目  
六番地寄留

發行者 前野長發

北海道札幌區南一條西二丁目  
一番地

印刷者 山崎芳藏

横濱市本町六丁目八十二番地

印刷所 横濱活版舍

横濱市本町六丁目八十二番地

發行所 北海道同盟著譯館

北海道札幌區大通

北海道

賣捌書林

函館末廣町

同 町

同 町

札幌南一條西二丁目

同 西三丁目

同 南二條西二丁目

同 町

小樽永井町

同 堺町

同 堺町

同 堺町

同 堺町

同 堺町

東京大坂

賣捌書林

東京市京橋區銀座四丁目

同 日本橋區本町

同 通四丁目

同 通一丁目

同 京橋區弓町二丁目

同 大坂市東區備後町四丁目

魁文軒

愛新堂

靜光堂

玉振堂

自治堂

日盛堂

聚文堂

四海堂

白鳥書

博文書

金港堂

春陽堂

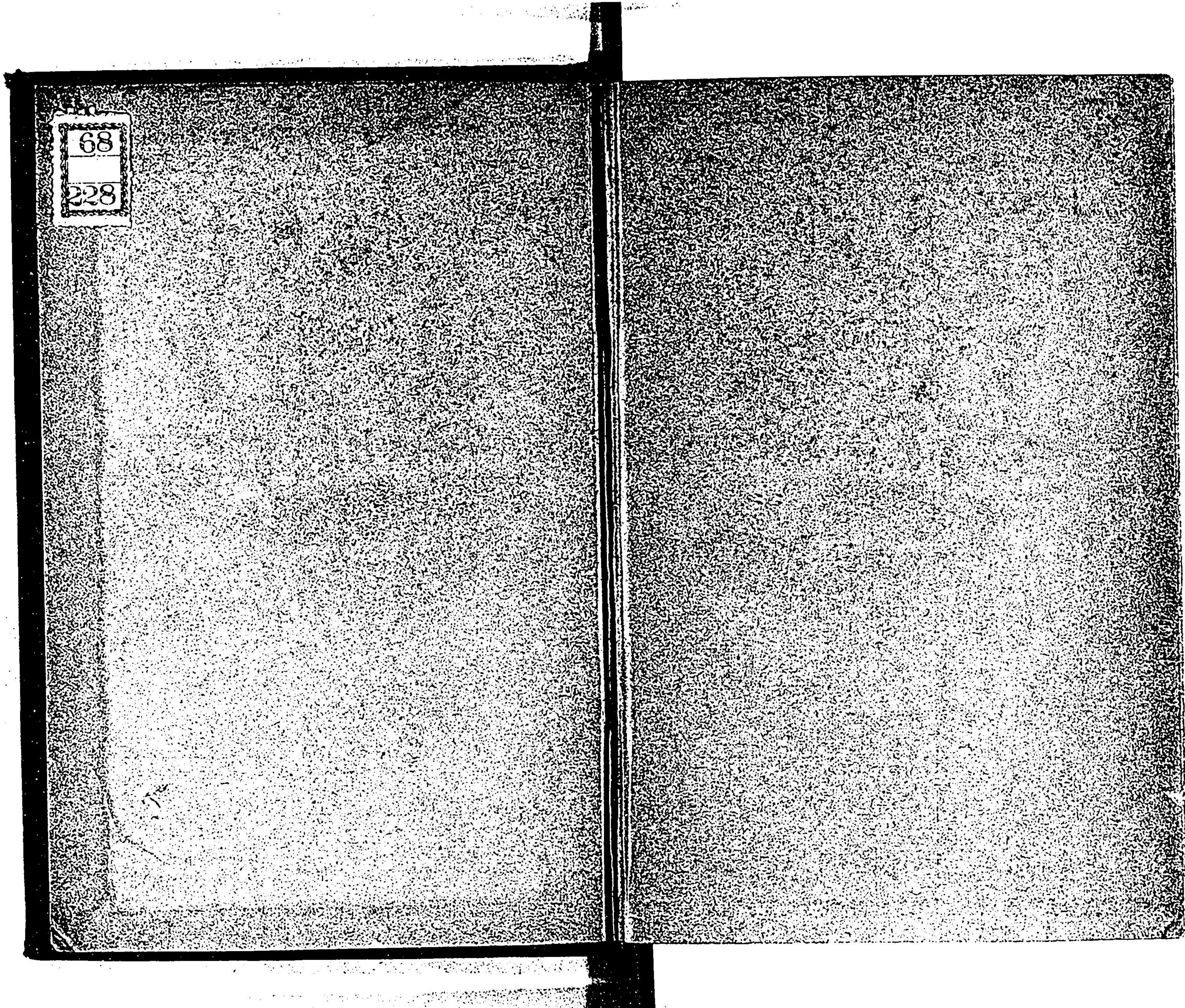
大倉書

三松書

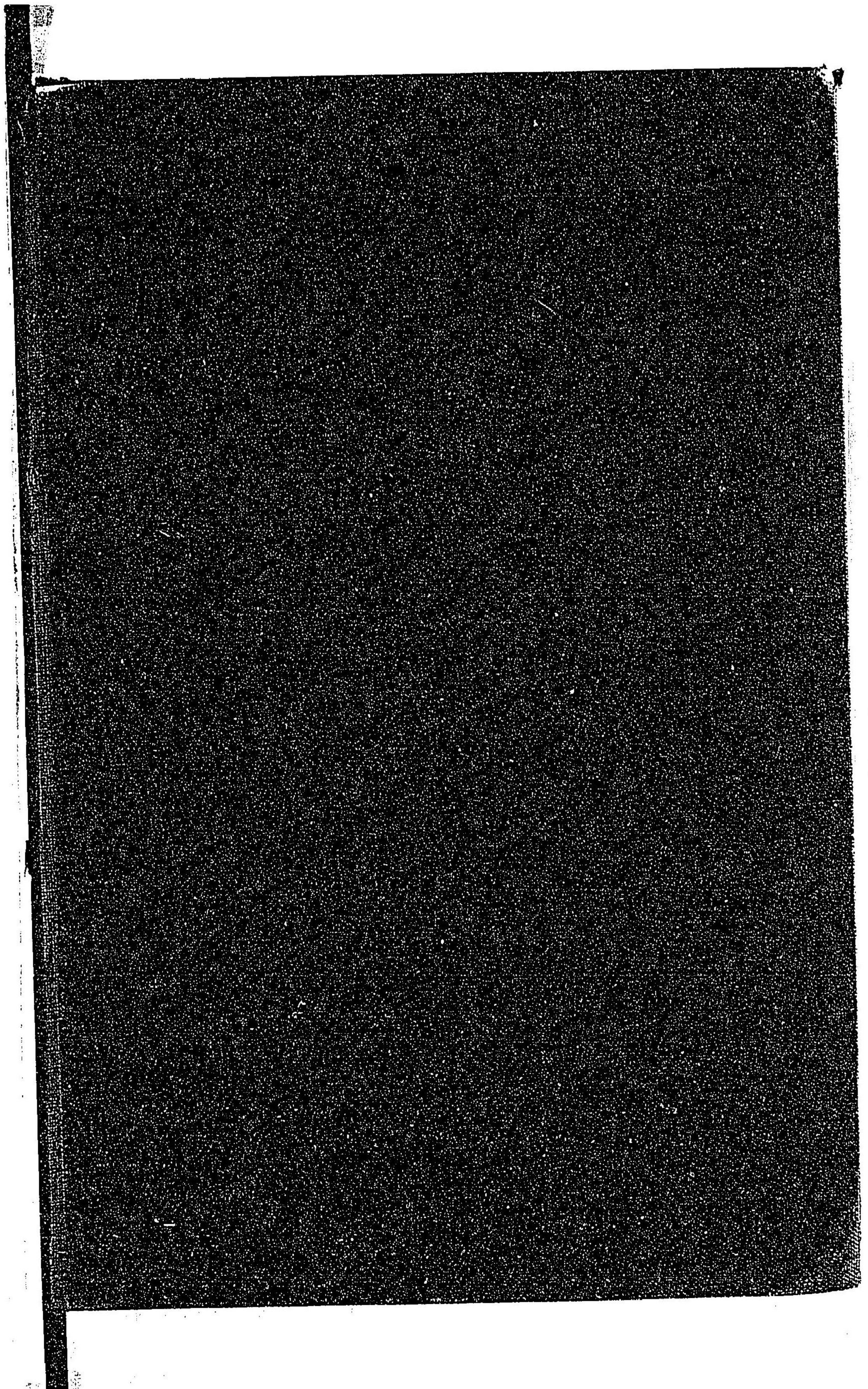
石井書

其他各地書林

房堂店堂堂社店屋堂館堂堂堂軒舍



68  
228



68  
228

禁  
電  
子  
式  
複  
写

031386-000-9

CZ-1113-11-09

北海道官民便覧

近藤 与四郎/編

M25

BBD-0684



